企業規模：中小企業／**業種：**建設業（造園工事業）／**地域：**横浜地域　（様式１）

街の緑を育て、剪定枝は資源に戻し、災害のときは公園を守る（株式会社新正園）

取組の概要

公園・街路樹・墓園の維持管理で出る剪定枝や伐採木を廃棄せず、**再生施設へ運んでチップ材・堆肥に戻している。**敷地内には雨水貯留槽を置き、苗木や植木への散水に使う。さらに横浜市造園協会を通じて**横浜市と災害協定**を結び、台風などの災害時には公園緑地の倒木処理など応急処置に出動できる体制を整えている。

該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

造園の仕事では剪定枝や伐採木が毎日のように出る。以前は処分費をかけてごみとして捨てていたが、**緑を育てる会社が緑をごみにするのは本業の考え方に合わない。**また、台風のたびに公園の倒木が通行や利用の妨げになる場面を見てきた。地域の緑を預かる会社として、いざというときに動ける仕組みが要ると考えた。

解決に向けた具体策と成果

剪定枝・伐採木は再生施設へ搬入し堆肥・チップに。災害協定に基づき緊急出動できる待機体制を整え、要請があれば即日対応できるようにした。

取組による定量的な効果

災害協定は平成28年から**10年継続。**従業員の**横浜市民比率100%。**事務所・置場の照明はLED100%。

取組のポイント

新しい投資は要らない。本業で出るものの**「行き先」**と、いざというときの**「出番」**を決めるだけで続けられる。

企業規模：NPO／**業種：**環境団体／**地域：**湘南地域　（様式１）

畑や田んぼを地域の学びの場へ子どもたちから始まる脱炭素（NPO法人ふるさとファーマーズ）

取組の概要

約8,000㎡の農地で環境再生型農業と呼ばれる不耕起栽培を実践し、土壌にCO_2を貯留、生物多様性の回復、ニホンミツバチの養蜂を進めています。さらに担い手不足の農地を学校・企業・市民・行政が共に学ぶ場として活用し、農を起点に環境・教育・地域をつなぐ仕組みをつくっています。畑や田んぼの体験を提供した人数は6年間で**合計11,332人。**

該当するSDGs目標（３つまで）





取組を始めた動機・課題

高齢化により担い手がいなくなった農地・耕作放棄地を、地域の未来を育てる資源として再生したい。同時に、気候変動や生物多様性の課題を、子どもたちが自分ごととして学び、**地球温暖化に対して具体的な行動ができる場**が必要だと考えました。環境問題、農業問題にアプローチする先駆的な取り組みです。

解決に向けた具体策と成果

不耕起栽培・土壌診断・養蜂を行い、学校では脱炭素型の畑づくりや、種まき、収穫まで体験。企業・大学・行政・地域も巻き込み、農地を共創の場へ。**第2回かながわ脱炭素大賞受賞。**

取組による定量的な効果

環境教室は16校・延べ3,420人。約8,000㎡の農地で実践、1haあたり**156世帯分のCO_2貯留**を確認。

取組のポイント

地域に残る農地を活用し、**環境・教育・地域づくりを同時に進める。**特別な設備を必要とせず、地域ごとに応用できる。

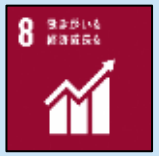
企業規模：独立行政法人／**業種：**製造業／**地域：**県西地域（様式１）

だれもが働きやすい職場環境づくり
（独立行政法人国立印刷局小田原工場）

取組の概要

聴覚に障害のある職員も安全かつ安心して働ける職場を目指し、リアルタイム字幕表示システムの導入、災害発生時伝達用のパトランプや注意喚起表示板の設置などの**環境整備を実施**しています。 また、ろう学校との意見交換や、研修時の手話通訳者の配置などを通じて、**情報共有と相互理解を促進**する取組を行っています。

該当するSDGs目標
（３つまで）







リアルタイム字幕表示システム

トイレ等に設置したパトランプ

注意喚起表示板の設置

職員意見交換・アンケート実施

取組を始めた動機・課題

聴覚に障害のある職員に対しては、ミーティングや研修などにおいて、発言内容や連絡事項を**円滑に伝えるための工夫が必要**でした。

また、トイレ個室や休憩室、更衣室など、一人で利用する機会が多い場所では、災害や緊急事態の発生に気付きにくいという課題があり、**安全確保のための対策**が求められていました。

解決に向けた具体策と成果

工場全体の取組目標として計画に定め、聴覚に障害のある職員との**意見交換やアンケートを実施し、課題を把握**しました。その結果、洗い出した課題の改善に取り組んでいます。

取組による定量的な効果

・課題の解決 3件　・ろう学校との意見交換 4回実施
・研修等への手話通訳者の配置 6回実施　※令和7年度実績

取組のポイント

・**当事者との対話を通じて**課題を把握し、設備整備面と心理面への支援の両面から環境改善を進めました！

みんなのSDGs応募申請書

企業規模：中小企業／**業種：**建設業／**地域：**横須賀・三浦地域　（様式１）

高齢化を強みに変えるシニア割引（株式会社シュート）

取組の概要

1965年以前生まれた方が対象
60歳から**1加齢毎に1%割引**シニア割を展開。

新規受付を地域の礎を築いたシニア層に限定。
定年後も安心して暮らせる家の外部修繕塗装工事。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

年長者を敬う気持ちの実行
シニア層を主役とした小さな取組み発信が
多くの気づき・大きなきっかけにつながれば何より

新規受付対象を制限したことで
目に見える絶対数と問合せ減小対策が課題。

解決に向けた具体策と成果

少子高齢化を背景に需要のある成長分野・マーケットと捉え、**シニア層と顧客層を優遇・優先**した取り組みを続け、立案実行する。成果なし。

取組による定量的な効果

シニア割の問合せ・予約が入りだした。

取組のポイント

年を重ねるほど割引率も上がる取組み。
尊敬の念をもち長寿を祝う想いを形にした。

企業規模：中小企業／**業種：**卸売業・小売業／**地域：**全域（様式１）

シンクピアが生ごみ処理の常識を変える『運ばず・燃やさず・その場で処理』（SINKPIA・JAPAN株式会社）

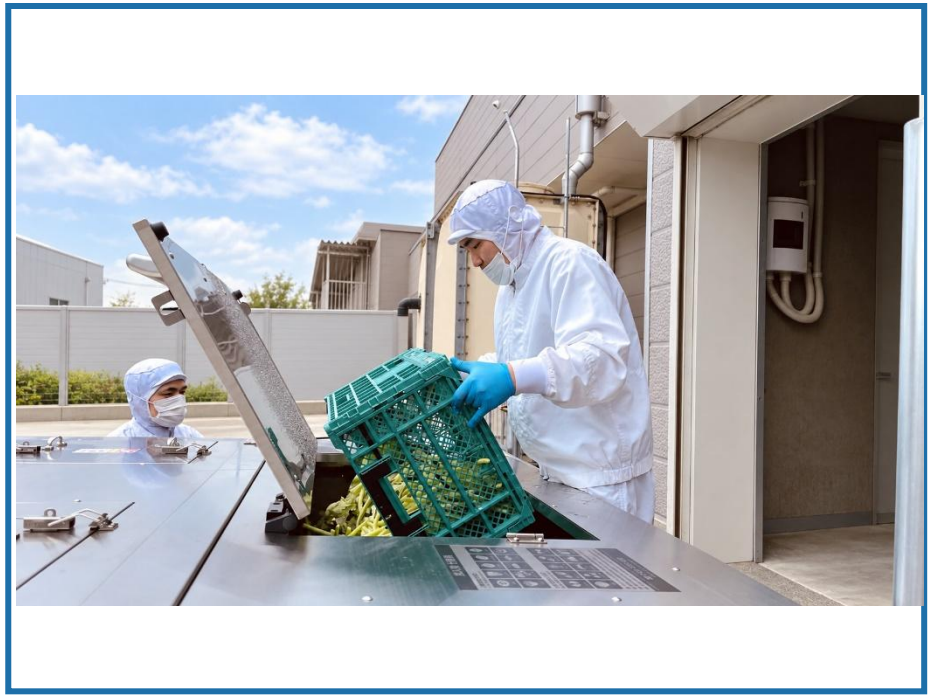
取組の概要

微生物の力で生ごみを分解する業務用生ごみ処理機「シンクピア」を開発・製造・販売しています。
調理くずや食べ残しを施設内で処理し、処分費や運搬する生ごみの量を減らします。飲食店から食品工場など生ごみ排出があるすべての場所で、ごみ出しの負担軽減や保管環境の改善に役立っています。

該当するSDGs目標
（３つまで）







取組を始めた動機・課題

生ごみを保管場所まで運ぶ負担や、保管中の臭い・虫の発生を減らしたいと考えました。廃棄物収集の人手不足や処理費用の上昇も背景に、発生場所で処理し、運搬に伴うCO_2排出を抑える取組を進めています。
今後は、仕組みや導入効果をより多くの事業者に伝え、導入をさらに広げることが課題です。

解決に向けた具体策と成果

排出場所で生ごみを処理し、保管・運搬の負担や臭気、CO_2、処理費用を軽減。展示会で普及を進め、グリーンエキスポ2027の横浜市出展への協賛契約も締結しました。

取組による定量的な効果

今までに885台を販売・設置。
毎年6,321.92tCO_2を削減し続けています。

取組のポイント

生ごみを「運ばず・燃やさず・その場で処理」。従来の常識を覆し、日本の生ごみ処理の未来を変えます。

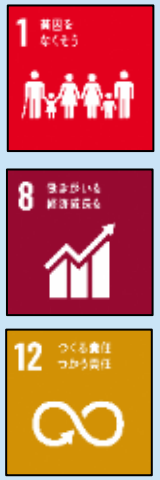
企業規模：中小企業／**業種：**小売業／**地域：**全域　（様式１）

無料の福利厚生から広がる、かながわのロス削減と社会貢献
（株式会社ファーストクラス）

取組の概要

神奈川県内の企業・団体が、無料の福利厚生として「クローズドマート」を導入。従業員は、食品・衣料品・日用品などの新品ロス商品を会員限定価格で購入できます。利用が広がるほど商品ロス削減につながり、売上の一部を寄附することで、**福利厚生とサステナビリティ推進を同時に実現**する取組です。

該当するSDGs目標
（３つまで）



参加が広がるほど、社会への好循環が大きくなる

かながわSDGsパートナー
規模問わず無料参加
→
従業員・職員
会員価格で購入
→
新品ロス商品
廃棄を削減
→
売上の一部
県に寄附
県の課題解決に活用



福利厚生の充実
×
商品ロス削減
×
寄附・社会貢献

取組を始めた動機・課題

まだ使える新品が廃棄される「商品ロス」は、企業単独では解決が難しい社会課題です。一方、企業には従業員の福利厚生充実と、SDGs・サステナビリティへの具体的な取組が求められています。そこで**費用負担なく参加**でき、日常の買い物を通じて従業員も自然に社会貢献へ参加できる仕組みを構築しました。

解決に向けた具体策と成果

「かながわSDGsパートナー」は県との協定に基づき**規模を問わず**福利厚生サービス「クローズドマート」を利用することができ、ロス削減と社会貢献を同時に実現・進行中。

取組による定量的な効果

2025年は県へ**1,154,078円寄附**。現在**32自治体**に協定拡大、年間約**87万個**のロスを削減。

取組のポイント

企業負担0円。従業員の「買う」が、福利厚生・ロス削減・寄附の3つにつながる仕組み。

企業規模：中小企業／**業種：**電気機械器具修理業／**地域：**横浜地域　（様式１）

食品ロス等の削減に向けた取組（株式会社コア・エレクトロニックシステム）

取組の概要

元来取り組んでいた社内フードドライブに代わる、より参画率の上昇が見込めるクローズドマートを利用登録し、廃棄ロス削減及び売上金寄付に貢献。

該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

食品ロスが減ってきた関係で、社内フードドライブの参画率が下がってきた為、廃棄ロスに関わる新たな取り組みを模索していた。全社員へのアンケートの結果、導入に至った。

解決に向けた具体策と成果

食品ロス削減意識が高まった結果、新たなステップとして廃棄商品全般に目を向けた。全拠点で取り組んでいる為、良い効果が期待できる。

取組による定量的な効果

① 社員の社会貢献意識とSDGs理解の向上、② 社内コミュニケーションの促進、③ 地域や取引先との信頼関係の強化

取組のポイント

満場一致で導入に至り、全社員の注目度も高い。新商品の案内が定期的に配信されるので興味が尽きない。

企業規模：大企業／**業種**：製造業／**地域**：横浜地域　（様式１）

調味料ボトルも「使い捨て」から「循環」へ（エバラ食品工業株式会社）

取組の概要

焼肉のたれに使用する新たな400mlボトルに、**再生プラスチック容器を初採用しました。**使用済みのプラスチックを資源として活用し、プラスチックの資源循環を推進しています。
調味料を通じて、持続可能な消費と生産の実現に取り組んでいます。

該当するSDGs目標
（３つまで）







取組を始めた動機・課題

再生プラスチックの導入は以前から検討していましたが、コスト面が課題でした。また既存商品の容器変更は製造設備の仕様変更が必要であり、影響範囲が大きく実現が困難でした。
そこで**新ボトル導入を機に包材メーカーと連携し、再生プラスチック容器の採用に挑戦しました。**

解決に向けた具体策と成果

新規採用の400mlボトルに再生プラスチック容器を導入。
既存商品の仕様に影響を与えることなく資源循環の取り組みを前進させました。

取組による定量的な効果

バージン材（未使用の新しい素材）使用量を**約72%削減**

取組のポイント

既存商品ではなく新ボトルから始めることで、実現可能性と環境配慮を両立しました。

みんなのSDGs 応募申請書

企業規模：中小企業／**業種：**製造業／**地域：**湘南地域　（様式１）

夢と希望のOn Line Event 国際交流を児童養護施設で開催
（日本ムーグ株式会社）

取組の概要

“地域・社会への貢献”の一環として、8/24に神奈川県大磯町のエリザベス・サンダース・ホームにて、施設の子どもたちを対象に**海外（インド）とオンラインで繋ぎ、“時差を感じ”**現地ガイドと一緒にインドの食文化や習慣を教えてもらいながら、実際にインドのお菓子を試食したり、みんなでラッシー作りを体験するなど、異なる文化を**リアルに体験を**していただきました。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

施設長から社会的養護となった子どもたちは、卒園後になかなか社会に馴染めず苦労しているという課題を伺いました。
その理由として、社会（海外含む）の事を知る機会が少なく順応する事が難しい事をあげておりました。
その為、施設にいながらも**施設外の世界の国々の人たちと触れ合う機会を提供できないかと弊社内で検討いたしました。**

解決に向けた具体策と成果

日本で海外体験できるコンテンツが強みの（株）Mimmy様と連携し、オンラインイベントを企画しました。施設長からは期待以上に多くの子どもが参加してくれたと評価いただきました。

取組による定量的な効果

昨年度実施比で、「海外に興味を持った」子どもたちの増加。
（四半期に1回開催しており、今回で3回目を実施）

取組のポイント

エリザベス・サンダース・ホームとMimmy様を繋げることで、**子どもたちと“世界”を繋げるアクション**を実現できました。

企業規模：中小企業／**業種：**小売業／**地域：**全域　（様式１）

観葉植物に「リサイクル市場」をつくる店（らくうぇる）

取組の概要

行き場を失った観葉植物や植木鉢を買取・引き取りし、手入れや養生を経て再び必要とする人へつなぐ「植物の循環」に取り組んでいます。植物を販売するだけでなく、手放すときにも「捨てる」以外の選択肢を提供し、植物にもリサイクル市場が当たり前に存在する社会を目指しています。

該当するSDGs目標

（３つまで）













取組を始めた動機・課題

家具や家電、衣類にはリサイクル市場がある一方、観葉植物には手放す際の受け皿がほとんどありません。高齢化による施設入居、相続、引越しなど様々な事情で、大切に育てられてきた植物が行き場を失い、まだ生きられるにもかかわらず廃棄されている現状を知り、この取組を始めました。

解決に向けた具体策と成果

買取・引取から、手入れ・養生、再販売までを一貫して行う循環の仕組みを構築。さらに再生ファームを開設し、これまで流通が難しかった植物の長期再生にも取り組んでいます。

取組による定量的な効果

令和7年に4,500株以上を循環。鉢約3,000個、土約7.5t相当と推計。

取組のポイント

「捨てない」を善意だけに頼らず、買取・再生・再販売によって継続できる事業として成立させています。

企業規模：中小企業／**業種：**サービス業／**地域：**県央地域　（様式１）

捨てられる衣類を、地域の「資源」と「仕事」へ
― 200種類の選別から始まる衣類循環 ―（ファイバーシーディーエム株式会社）

取組の概要

神奈川県内で回収した衣類を大和工場に集約し、状態・素材・用途等に応じて約200種類に選別。「回収するだけでは循環しない」という課題に対し、リユース、繊維リサイクル、資源化など一着一着に適した出口につないでいます。衣類を「ごみ」にせず地域資源として循環させ、選別を地域の新たな仕事につなげています。

該当するSDGs目標
（３つまで）



取組を始めた動機・課題

家庭から排出される衣類の多くが可燃ごみとして処理され、まだ着られる衣類や資源として活用できる衣類まで焼却されています。衣類の回収が広がる一方、回収後の選別やリユース・リサイクルにつなぐ「出口」がなければ、回収した衣類も最終的にはごみになります。この「回収のその先」をつくることが、衣類循環の課題でした。

解決に向けた具体策と成果

2025年10月に大和工場を稼働。衣類を約**200種類**に選別し、適したリユース・リサイクル先につなぐ仕組みを構築。**8割**以上を循環し、地域に**75人**の雇用を創出しました。

取組による定量的な効果

月間**250t**の衣類を選別し、循環率**80%**を実現。約**200種類**に選別し、新たに**75人**の地域雇用を創出。

取組のポイント

企業・自治体は「回収」から参加可能。その先を約200種類の「選別×出口」でつなぎ、みんなで衣類循環を実現

みんなのSDGs 応募申請書

企業規模：NPO／**業種：**ボランタリー活動／**地域：**全域　（様式１）

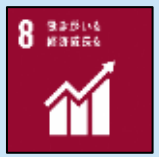
企業・団体等と福祉事業所の強みを活かした共創事業の創出
（特定非営利活動法人福祉と社会の架け橋）

取組の概要

福祉事業所を安価な労働力を提供する場や支援の対象としてだけではなく、独自の技術や才能を持つパートナーとして捉え、企業・団体等が持つ技術、販路、企画力、地域資源などと結び、双方の強みを活かした共創で、新たな価値や事業を生み出す。双方の利益につながるだけでなく、福祉事業所の経済活動への参画が共生社会の実現にもつながるものと考えます。

該当するSDGs目標
（３つまで）







「鎌倉アート陶芸」

※ボタンの写真はイメージ
（天草ボタンの写真を流用」





取組を始めた動機・課題

企業・団体等では新たなビジネスや地域貢献の可能性を模索する一方、福祉事業所が持つ技術や、福祉事業所を利用される方々の才能・創造性が十分に知られていない。福祉事業所側も、その魅力や強みを発信する余力が十分でなく、特に福祉と縁のない方々には伝えられていない。

解決に向けた具体策と成果

一例として、「鎌倉アート陶芸（仮称）」の事業に取り組んでいます。鎌倉の福祉事業所の才能あふれるアートと日本伝統の陶芸がコラボして鎌倉の新たな産物の創出を目指してます

取組による定量的な効果

商品は日用品であっても芸術作品であるため、生産量は年間1000個、1000円以上の販売価格を目標としております

取組のポイント

上記例では「アートの才能」と「陶芸に関する知見」の組合せが商品となった。ただ、商品の販路確保が残課題となっている

企業規模： NPO ／**業種：**その他／**地域：**県西地域（様式１）

ネパールの子どもたちにエールを（NPO法人ヒマラヤの星たち）

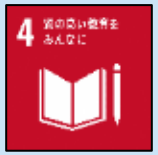
取組の概要

「ネパールの明日をつくる子どもたちにエールを」を掲げ、遠隔地の子どもたちの眼の健康を守る活動をしています。適切な検眼と眼鏡を持続的に入手できる仕組みを構築して、視力改善を通じて学習・生活能力を向上することを目的としています。また、定期検眼の実施を学校関係者に呼びかけて、早期発見による重症化対策を奨励しています。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

女性教員を対象とした研修会で防災知識を提供した際、幼少期に眼病を悪化させて義眼を入れている教員に出会いました。ネパールには3万人の失明、20万人の弱視、33万人の屈折異常がある子どもがいることがわかりました。学校では定期検眼をしていません。また、疾病、異常がわかっていても経済的な理由から眼科病院で診療することができません。

解決に向けた具体策と成果

病院で待つのではなく、遠隔地の学校に出向いて専門医による検査、診断をして課題を解決する手法をとっています。疾病の治療や屈折異常の補正は首都の眼科病院で対処します。

取組による定量的な効果

これまで3千人の検眼をして、200人以上の治療（外科手術、眼鏡政策等を含む）を行いました。

取組のポイント

徹底した現場主義です。教員、父兄、村人の信頼を得るよう努力しています。

企業規模：中小企業／**業種：**その他／**地域：**県央地域　（様式１）

耕作放棄地が笑顔の畑に！「さつまいも共創プロジェクト」（ノジマステラ神奈川相模原_株式会社ノジマステラスポーツクラブ）

取組の概要

女子サッカークラブ「ノジマステラ」が、耕作放棄地を活用してさつまいもを栽培する「かわしまやきいもストア」及び「相模原南児童ホーム」と協働して行う共創プロジェクトです。クラブ練習場内の荒れ地（疑似耕作放棄地）でさつまいもを栽培し、畑づくりから販売までを通した食育体験を提供。地域交流と子どもたちの社会参画意識を育みます。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

農業者の高齢化や後継者不足により増加した「耕作放棄地」の課題解決と、児童養護施設の子どもたちの社会参画を促進することが動機です。農業体験を通して地域の人々と交流する機会を作り、社会との繋がりを深めるとともに、参加者が児童虐待防止の取り組みについて知るきっかけを作ることを目指して始まりました。

解決に向けた具体策と成果

パートナー企業やサポーターと協働で農地を拡大し、**苗植え**や**収穫**を実施。規格外の芋の**調理会**やスタジアムでの焼き芋**販売**を行い、**世代や立場を超えた地域交流を実現**しました。

取組による定量的な効果

約半年間で107.58kgのさつまいもを収穫しました。耕運～販売までに関わった累計参加人数は395名でした。

取組のポイント

スポーツ・福祉・農業の異業種連携にファンや企業を巻き込み、栽培から販売まで一貫した体験を協働した点です。

企業規模：中小企業／**業種：**サービス業／**地域：**湘南地域　（様式１）

フラワーロスの根本解決を目指して。ロスになる前に 花・苗の次の行き先をつくるアプリ『Bloomap』（株式会社MCS）

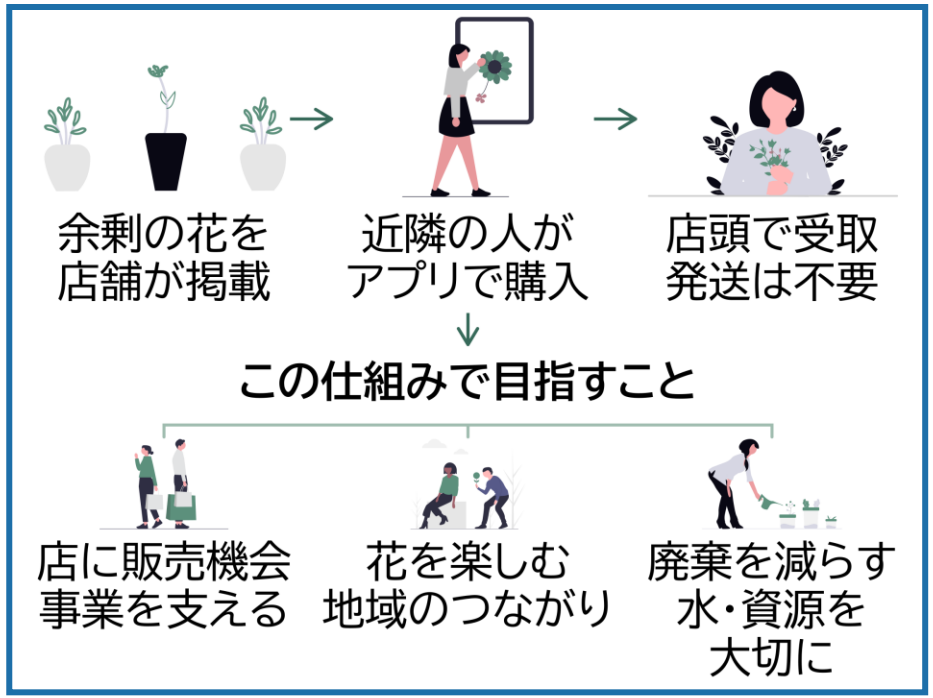
取組の概要

花屋・園芸店・生産者の余剰の花や苗を、近隣の人へつなぐアプリを運営。余剰分の販売機会を増やして地域の事業を支え（目標8）、店と住民のつながりを育み（11）、まだ楽しめる花や苗の廃棄を減らして資源を大切にする（12）ことを目指す。購入した植物は店頭で受け取る。

該当するSDGs目標

（３つまで）





取組を始めた動機・課題

捨てられる花を一本でも多く減らしたい。まだ楽しめる花や苗が、仕入れ過多や季節の切り替わりなどで行き先を失うことがある。必要とする人へつなぎ、育てるために使われた水や資源も大切にしたい。地域で受け渡す仕組みを通じて、環境に配慮した花の楽しみ方を広げたい。

解決に向けた具体策と成果

地図での検索、アプリ決済、店頭受取の仕組みを公開・運営。店舗が価格・数量・掲載時期を決められ、月額・掲載料無料、取引成立時のみ手数料がかかる。

取組による定量的な効果

受渡完了0件（2026年10月14日時点）。
ロス削減効果の検証はこれから。

取組のポイント

月額・掲載料無料で参加でき、受渡しは店頭で完結。価格・数量は店舗が決め、通常販売を尊重する。

企業規模：その他／**業種：**その他（協同組合）／**地域：**全域（様式１）

地域の生活と暮らしを守るはたらくくるまinJAさがみ（さがみ農業協同組合）

取組の概要

かながわSDGsパートナ登録企業として、安全で環境に配慮し将来にわたり安心して暮らし続けられるまちづくりに寄与することを目的に、はたらく車の展示、乗車体験やクイズラリー、地場農産物の販売等を行い、地域の子育て世代を中心に防犯・防災および食・地産地消への関心喚起を図りました。

取組を始めた動機・課題

JAとして、環境に配慮し、将来にわたって安心して暮らし続けられるまちづくりに寄与するため、防犯・防災および食・地産地消の意識を高めるためのイベントを実施したいと考えました。また、地域の生活を守る他団体と協力する事でより強い意識醸成を図れる企画と致しました。

該当するSDGs目標
（３つまで）





解決に向けた具体策と成果

行政、関係機関、農家、キッチンカーの協力を経て多くのはたらく車が集結できました。各ブースごとにスタッフが配置され普段乗車できない車両に親子で乗車し大変喜ばれました。

取組による定量的な効果

700名を超える来場者で賑わいのある催し物となりました。

取組のポイント

関係機関への参加の呼びかけと、地域の方々への広報活動による当日の参加促進を図りました。

企業規模：その他／**業種：**その他（協同組合）／**地域：**全域 （様式１）

出荷できない花の新たな販路の開拓による生産者の所得向上（さがみ農業協同組合）

取組の概要

規格外や猛暑による傷みで出荷できない花などを、原材料とした「入浴料（浴用化粧料）」の商品開発および販売に取組んだ。花の原材料の提供先として**新たな販路を開拓し、地域や生産者へ貢献できた。**

該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

店舗職員が、生産者との会話で猛暑による傷みで出荷できない花（商品）が多いことを知った。手間をかけて生産したものが出荷できず、農業生産資材も高騰しているなか、SDGsに貢献しつつ**生産者の所得向上につながるような取組み方法**を職場会議で検討した結果、「入浴料（浴用化粧料）」に着目した。

解決に向けた具体策と成果

出荷できないバラ、ゆり、カーネーションの花びら合計約13キロを原材料とし、「入浴料」を1年かけて商品化した。「花」の原材料提供先として**新たな販路を開拓できた。**

取組による定量的な効果

入浴料を年金受給者4万人の誕生日プレゼントとして差し上げたり、地域をPRする新商品として直売所で販売した。

取組のポイント

SDGsへの貢献にとどまらず、生産者の所得向上をはじめとする社会的価値の創出を目指した。

社会福祉事業所応援プロジェクト
（株式会社日本コンピュータコンサルタント）

取組の概要

「社会福祉事業に寄り添い、ともに歩む」という理念のもと、福祉関連の大規模展示会の自社ブースで、障害福祉サービス活動を行うリズム㈱の表彰式を開催し、記念品を授与。あわせて、事業所が製作した草木染ハンカチを来場者へ配布し、**障害福祉活動への理解と関心を高めるとともに、障害福祉事業所の活動を広く周知**した。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

介護・障害福祉分野向けソフトウェアを提供する中で、**単なる製品導入支援にとどまらず、福祉事業者に寄り添い、ともに歩みながら社会福祉事業の発展に貢献したい**と考えていた。一方で、障害福祉事業所による活動や製品の魅力が広く伝わる機会が少なく、**社会的認知の向上が課題**となっていた。

解決に向けた具体策と成果

展示会で障害福祉サービスを行う事業所の表彰式を実施。活動内容を紹介すると共に、製作した草木染ハンカチを来場者へ配布し、**障害福祉活動の認知向上と理解促進**を図った。

取組による定量的な効果

来場者**750名**への周知機会を創出し、ノベルティの草木染ハンカチを**360枚**配布。表彰式には**約25名**が参加した。

取組のポイント

業種に関わらず、自社イベントや発信機会、顧客接点を活用し、地域・社会課題の解決に貢献することが可能である。

企業規模：中小企業／**業種**：製造業／**地域**：県西地域（様式１）

MODRINAE　―全員参加の環境活動―
（株式会社デコリア）

取組の概要

㈱ソマノベースが提供する「MODRINAE（戻り苗）」を導入。配布されたどんぐりを会社内で約2年かけて育て、成長した苗を皆伐地へと送り出す。**社員全員参加の取り組み**として企画し、各部署で成長を見守っている。
一過性の環境活動でなく、社員のSDGsへの関心や意欲を育む**継続的なプロジェクト**として取り組んでいる。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

課題：社内のSDGsに対する関心を高めること、そして**全員が「自分事」として一体感を持って取り組める環境づくり**が必要。
動機：特別な知識が要さず、「日当たりを気にかけ、適宜水やりをする」というシンプルなアクションだけで完結する点に着目。**社員全員で苗木の成長を見守ることができる仕組み**であることが導入の決め手となった。

解決に向けた具体策と成果

全員参加の朝礼で概要説明を行い各部署へ配布。以降も朝礼の際に経過報告を重ねて**全員参加の意識を促し**、苗木への関心を維持・向上させる発信を継続している。

取組による定量的な効果

グループ全体へ規模を拡大し、全19事業所、1093名が参加。
現在240鉢の育苗に取り組んでいる。

取組のポイント

個人や一部署だけの取り組みで完結させず、**全員参加の場を整えて活動意義を共有**する。

企業規模：大企業／**業種**：その他／**地域**：全域 （様式１）

万博レガシーを、次世代の行動へ。学生×企業で挑む「ステハジ」共創UNIVERSITY（株式会社OSGコーポレーション）

取組の概要

大阪・関西万博で1,200万回超の給水体験を生み出した「ステハジ」のレガシーを次世代へ。企業と複数大学の学生が垣根を越えて共創し、気候変動や海洋プラスチックごみなどの社会課題を学び、実践する。マイボトル給水をはじめ、身近な行動・習慣の変容を促し、GREEN×EXPO 2027へつながる持続可能な社会づくりを目指す。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

大学職員との意見交換を通じ、SDGsに関心はあっても、具体的な行動につなげられない学生がいるという課題を知った。これまで企業・自治体など多様な共創メンバーと培ってきた実績を活かし、次世代を担う若者と共に、サステナビリテを学び、実践へとつなげ、マイボトル給水が日常の当たり前となる文化を創りたいと考え、本プログラムを開始。

解決に向けた具体策と成果

11月5日の「ステハジ」EXPO、GREEN×EXPO 2027での実践に向け、座学で共通課題と目標を明確化。学生主体のアイデア出しや企画準備を通じ、行動変容につなげる。

取組による定量的な効果

座学前後の比較で、ステハジへの関心は67%→100%、GREEN×EXPO・マイボトル給水への関心も100%に到達。

取組のポイント

対面・オンラインによる座学、アーカイブ配信、グループLINEでの情報共有により、学生が参加・交流しやすい環境を整備。

みんなのSDGs応募申請書

企業規模：中小企業／**業種：**小売業／**地域：**湘南地域　（様式１）

ありがとうが巡る、資源循環のしくみ＜学生服リユースから広がる地域のつながり＞（学生服リユースShopさくらや藤沢店）

取組の概要

卒業などで着なくなった学生服を回収・査定し、クリーニングや修繕を経て、必要とする人へ安価で販売。査定額は子どもたちの未来を応援する基金へ寄付し、学生服のリユースと地域への還元に取り組んでいる。

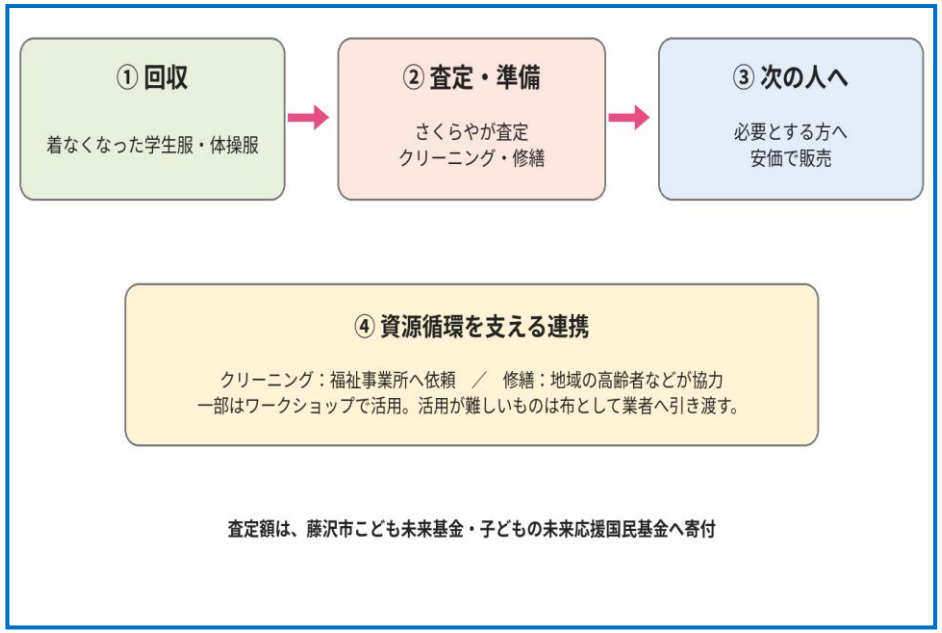
該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

身近で制服の準備に困っている人を見たことがきっかけ。制服を必要とする人の助けになり、誰かから受け取った「ありがとう」を次の誰かに巡らせたいと考えた。さくらやの活動を知り、「これだ！」と感じ、取り組みを始めた。

解決に向けた具体策と成果

回収した学生服を査定し洗濯や修繕を経て販売。一部はワークショップで活用し、活用が難しいものは布として業者へ引き渡す。洗濯は福祉施設、修繕は地域の高齢者に依頼している。

取組による定量的な効果

2023年1月～2026年10月、子どもの未来応援基金、藤沢市こども未来基金へ累計約13万円を寄付。

取組のポイント

地域の多様なパートナーと協力し、モノだけでなく人のつながりと「ありがとう」も循環させる。

企業規模：中小企業／**業種：**製造業／**地域：**県央地域　（様式１）

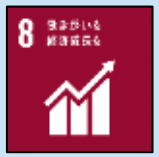
多様な就労形態に対応する「ショートタイムワーク」（田中紙業株式会社 厚木工場）

取組の概要

弊社は段ボール箱を中心とした各種包装資材の設計・製造を行っています。多様な就労形態に対応できる「ショートタイムワーク」を導入し、子育て中の方や外国籍の方など様々な事情で長時間勤務が難しい方は週20時間未満で働いています。家庭の状況やライフスタイルに合わせて働くことができる人材が増え、柔軟で持続可能な製造体制の支えになっています。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

弊社は「1個単位の要望に応えるものづくり」を強みとしています。お客様の細かな要望にお応えするため、人の手による作業が欠かせません。また、人手不足の中、人材が集まりにくいのが現状です。家庭の状況や健康状態などによって、働きたくても長時間勤務が困難なことから就業を諦めていた方に、楽しく元気で働ける柔軟な働き方の提供を考えてみました。

解決に向けた具体策と成果

既存社員、新規採用者ともに、面談等を通じて弊社の「ショートタイムワーク」の仕組みを説明しました。当該仕組みにより、多様な人材が元気に働いており、現場を支えてくれています。

取組による定量的な効果

ショートタイムワークを中心とした柔軟な働き方による就業者の採用により、従業員数は前期比4名増加しました。

取組のポイント

全社員に対して、ショートタイムワークの目的、職場・就業者双方にとってのメリットを説明し、理解してもらいました。

みんなのSDGs 応募申請書

企業規模：団体／**業種：**その他（環境教育・社会教育）／**地域：**湘南地域　（様式１）

1匹のメダカで結ぶ「放さない約束」― 学ぶ・約束する・引き取る環境教育 ―（一般社団法人IMA国際メダカ愛好会）

取組の概要

改良メダカを入口に、河川への放流を防ぐ環境教育を実施。子どもは実物を見ながら正しい飼育と自然に放してはいけない理由を学び、メダカを受け取る際に「川に放さない」と約束する。飼育継続が難しくなった場合は相談を受け、必要に応じて引き取る。「学ぶ→約束する→相談・引き取り」までを一つの仕組みにしている。

該当するSDGs目標

（３つまで）











学ぶ ➡ 約束する ➡ 相談・引取

取組を始めた動機・課題

神奈川県のミナミメダカは絶滅が危惧され、地域ごとに遺伝的な違いがある。飼育していた改良メダカ等を「かわいそうだから」と川へ放す善意の行動は、交雑によって地域固有の系統を失わせるおそれがある。改良メダカを楽しむ愛好家団体だからこそ、魅力と同時に「最後まで飼う」「自然に放さない」まで伝える活動を始めた。

解決に向けた具体策と成果

・科学館・小学校理科の授業等で体験型教室。「川に放さない」と約束・飼育困難時は相談、必要に応じて引取・SDGs連携：学童、保育園：親子向けデジタル紙芝居

取組による定量的な効果

「めだかのいろは」3000枚配布・2026年220名へ環境教育・伊勢原市科学館で5年継続、かなめでの連携・引取7件

取組のポイント

「渡して終わり」にせず、①知識 ②放さない約束 ③相談先をセットに。既存施設で他団体にも応用可能。

みんなのSDGs応募申請書

企業規模：中小企業／**業種：**卸売業・小売業／**地域：**横浜地域

ユニフォームから始める資源循環！企業が手軽に参加できる「Recycling HERO Project」（株式会社ダイイチ）

取組の概要

企業で役目を終えたユニフォームを回収し、リサイクル・アップサイクルによって新たな製品へ生まれ変わらせる循環型プロジェクトです。回収から再資源化、再製品化、証明書発行、広報支援までを一貫して提供。小ロットにも対応し、企業規模を問わず本業を通じた資源循環に参加しやすい仕組みを広げています。

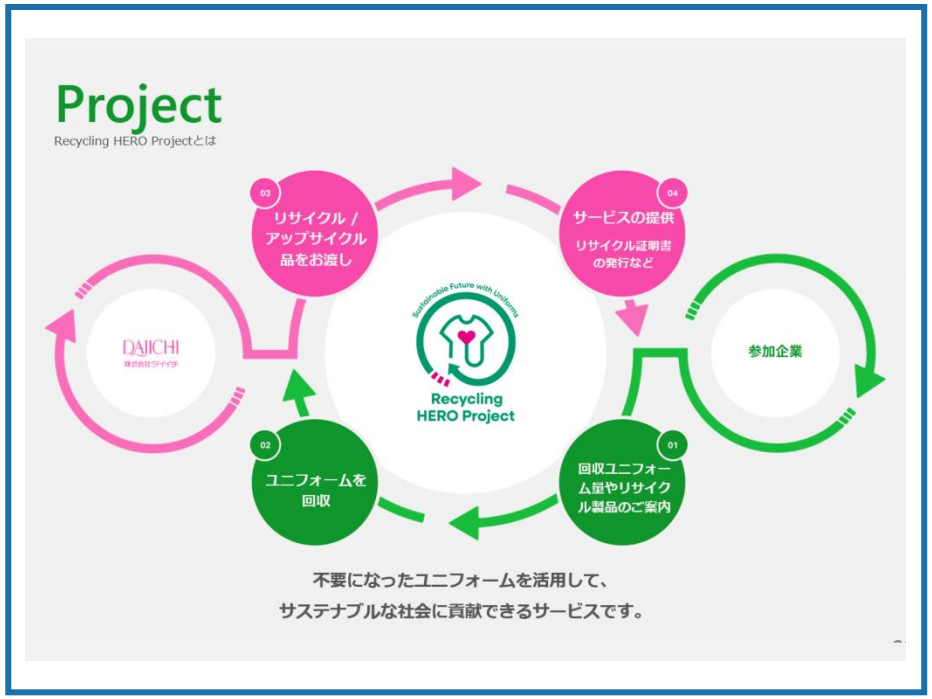
該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

企業ユニフォームは役目を終えると廃棄されることが多く、資源として活かす仕組みづくりが課題でした。また、環境活動に取り組みたい企業でも、回収量や費用、担当者の負担が障壁となる場合があります。そこで、ユニフォームを扱う当社の強みを活かし、中小企業でも無理なく参加でき、取組の成果を社内外へ伝えられる仕組みを目指しました。

解決に向けた具体策と成果

リサイクル事業者と連携し、素材に応じて再資源化。小ロットでの回収・製品化に加え、回収証明書や広報ツールを提供しています。

取組による定量的な効果

導入企業10社。2027年には15社への拡大を目標に、資源循環の参加機会を広げています。

取組のポイント

回収・再資源化・再製品化・成果の見える化まで一貫支援。小ロット対応で中小企業も参加しやすい仕組みです。

企業規模：中小企業／**業種**：廃棄物処理業／**地域**：全域（様式１）

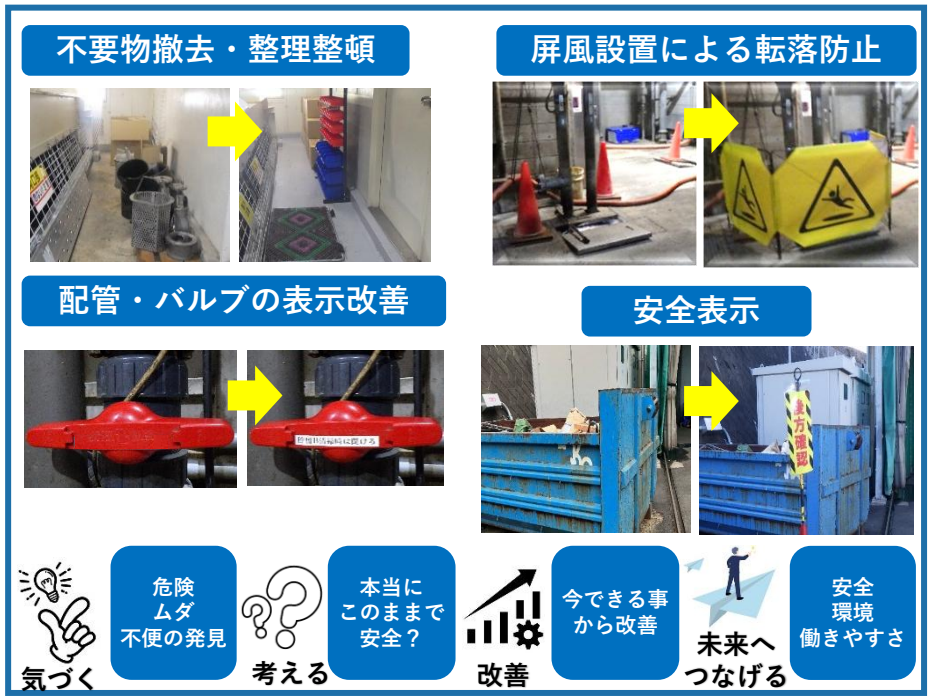
小さな気付きから始まるSDGs
（株式会社京葉興業）

取組の概要

戸塚工場では、日常業務で感じた危険や不便を見過ごさず、
一人ひとりの**「気付き」**から職場改善に取り組んでいます。
不用物の撤去や整理整頓、転落防止、設備・配管の表示、
作業環境の改善など、**小さな改善を積み重ね、**
安全・環境・働きやすさにつなげています。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

同じ場所で作業を続けていると、危険や不便が**「当たり前」**
となり、見過ごしてしまうことがあります。
不用物放置や分かりにくい表示、整理されていない場所は、
安全だけでなく作業効率にも影響します。
そこで、
気付いた人が**できることから改善する活動**を始めました。

解決に向けた具体策と成果

不用物の撤去・整理整頓、転落防止、
設備・配管の表示改善を実施。危険箇所を減らし、
分かりやすく働きやすい職場環境づくりにつなげています。

取組による定量的な効果

100個の気付き・改善を目標に、**（現在57個改善済み）**
不用物撤去や危険箇所の改善を継続して実施しています。

取組のポイント

大きな設備投資だけがSDGsではありません。
1つ気付き、考え、改善する身近な行動を大切にしています。

みんなのSDGs 応募申請書

企業規模：中小企業／**業種**：廃棄物処理業／**地域**：全域　（様式１）

『捨てる』から『活かす』へSDGsでつながる資源循環
（株式会社京葉興業）

取組の概要

戸塚工場では、食品を扱う過程で発生する
グリストラップ汚泥等を、脱水ケーキとして資源化しています。
さらに、肥料原料として再利用することで、食品由来の**廃棄物を新たな資源へと転換させる**食品リサイクルループを構築しています。この取り組みを通じて、
資源循環の促進と**脱炭素社会の実現**に貢献しています。

取組を始めた動機・課題

食品を扱う過程で発生する廃棄物を、**処理して終わりにするのではなく、資源として有効活用できないか**と考えました。
廃棄物の削減だけでなく、化学肥料の代わりに堆肥を農地で使用する事で**【CO2削減量：10,683tの効果があり（堆肥 年：6,775t）】**、処理したものを肥料として再利用し、**食品から農業へとつながる資源循環**を目指しました。

解決に向けた具体策と成果

グリストラップから回収した汚泥等を処理・脱水し、
脱水ケーキとして資源化。肥料として再利用することで、
廃棄物の削減と資源循環につなげています。

取組による定量的な効果

食品由来の**廃棄物（年：27,447t）**を脱水ケーキとして資源化
肥料として**再利用（年：6,775t）**しています。

取組のポイント

廃棄物を**処理して終わりにせず**、
肥料として次の**資源につなげる食品リサイクルループ**です。

該当するSDGs目標
（３つまで）









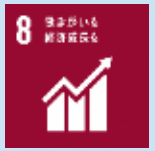
企業規模：中小企業／**業種：**情報サービス業／**地域：**横浜地域　（様式１）

仕事を分けて、一人ひとりの『できる』を探す！
（イマジネーション株式会社）

取組の概要

当社は、業務を細かく切り分け、障がいのある社員一人ひとりができる仕事を**根気よく探し続ける**ことで、**障がい者雇用率20%以上を5年以上維持**しています。さらに、**まとまったデータ入力業務を分担できるよう**、帳票を項目ごとに分割する入力システム「ANTONE」を**自ら開発**し、**活躍の場を広げています。**

該当するSDGs目標
（３つまで）







まとまった業務
申請書の入力など

細分化
作業単位まで

分担
得意に合わせて

一人ひとりの『できる』に合わせて仕事をつくる





多彩な個性が羽ばたく社会へ

取組を始めた動機・課題

障がいのある方の活躍の場は、清掃や軽作業など職種が**限られることが多くみられます。**当社は、仕事を細かく分ければ、持っている得意な力を発揮できる方が多いことを実感してきました。そこで**活躍の場をもっと広げたい**と考え、データ入力をはじめとする**IT・BPO関連の仕事を新たにつくる**ことを目指しました。

解決に向けた具体策と成果

業務を作業単位まで細分化し、得意や特性に合わせて**担当を割り振る**ことで、活躍の場を作り、**安定した雇用を確保。**この取組を**就労支援施設へも展開**しています。

取組による定量的な効果

障がい者雇用率**20%以上を5年以上継続**（法定の7倍以上）。

取組のポイント

業務を**作業単位まで分けて見直す**ことで、**一人ひとりの『できる』に合った仕事**が見つかります。

企業規模：大学／**業種**：教育・学習支援業／**地域**：川崎地域（様式１）

患者を救い，地球も守る-Green ICU Project
（学校法人 聖マリアンナ医科大学）

取組の概要

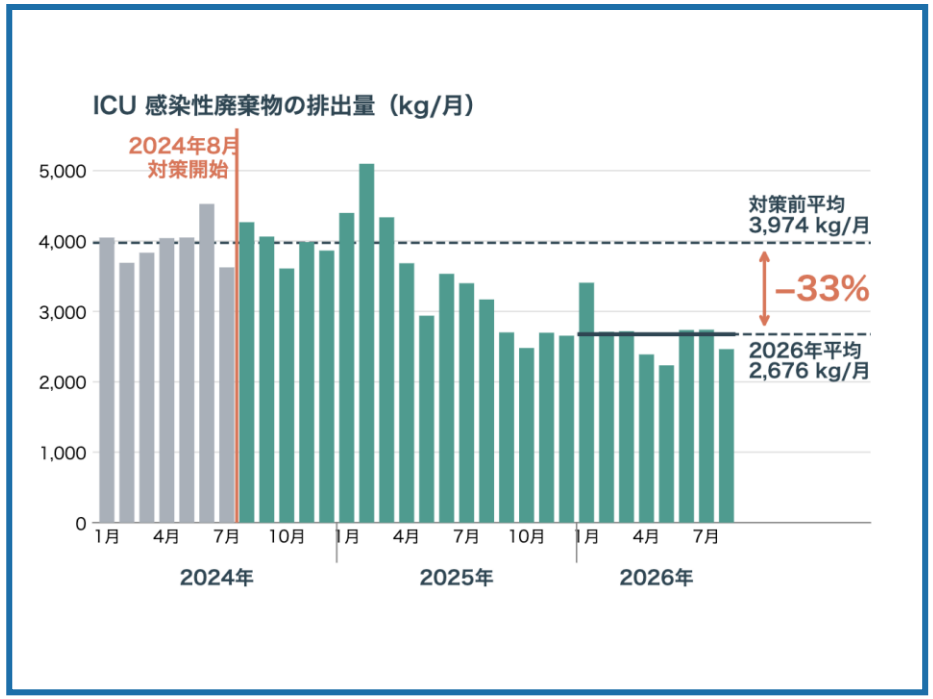
2025年6月から**ICU（集中治療室）**で、「**患者さんに質の高い医療を提供しながら、環境への負担を減らす**」ことを目指すプロジェクトを進めている。具体的には、医療現場で出るごみの分別・削減や、病院から出るプラスチックごみを新たな価値のある製品に生まれ変わらせる「アップサイクル」に取り組んでいる。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

ICUは、電気や水、使い捨て器具、薬剤を大量に使うため、病院の中でも特に環境への負担が大きい場所とされる。こうした**医療活動も地球温暖化の一因**となり、温暖化が進むと熱中症などでICUを必要とする人も増えるため、医療の質を守りながら環境への負担を減らす工夫が大切である。

解決に向けた具体策と成果

プラスチックごみと医療廃棄物を分別するよう、関係スタッフに説明し、浸透させた。またプラスチックごみを板状の材料に加工し、**学生も加わって、再利用する取り組み**を進めている。

取組による定量的な効果

前年比で-30%/月の医療廃棄物の削減を達成し、**毎月約700-2000kgの医療廃棄物の削減**に成功した。

取組のポイント

問題提起と意識付けが、現場での自主的な教育活動を生み出し、活動の定着と継続した成果を生んだ。

企業規模：大学／**業種：**教育・学習支援業／**地域：**川崎地域（様式１）

再製造医療機器を用いた持続可能な医療体制へ
（学校法人　聖マリアンナ医科大学）

取組の概要

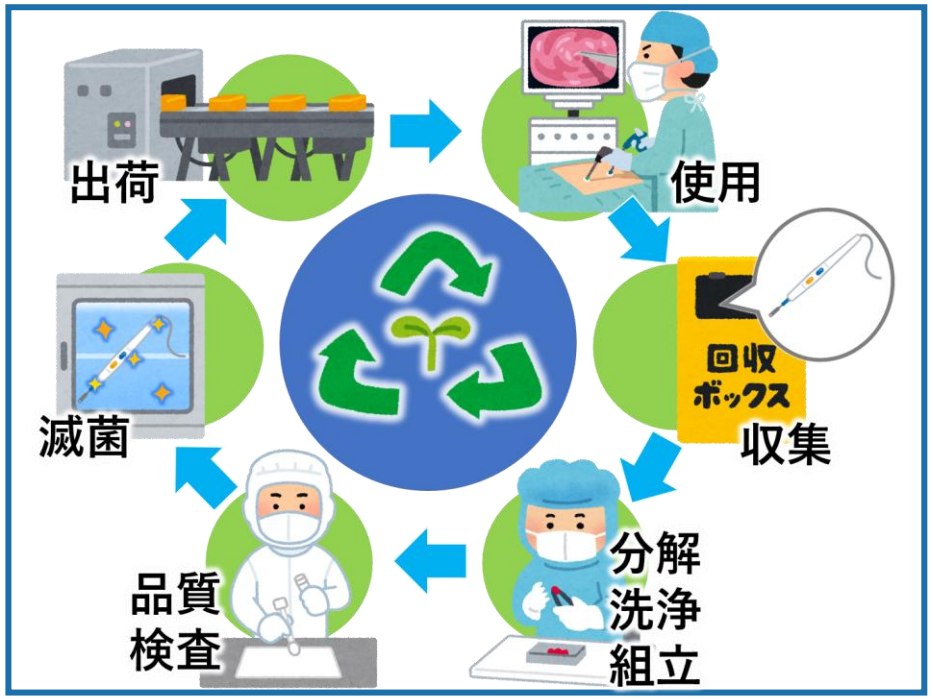
医療費増大とゴミの増加という課題に対し、一度使った高額な医療機器を回収・再製造して安全に再利用する取り組みを導入しました。これにより、質の高い医療と安全性を保ちながら、医療廃棄物の削減と医療費の負担軽減を同時に実現し、持続可能な医療体制の構築を目指しています。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

従来の医療現場では、使い捨て機器の多用により医療廃棄物が増え続ける環境問題と、高額な医療機器の購入による医療コストの増大という2つの大きな課題に直面していました。患者さんの安全と医療の質をしっかり維持しながら、環境問題と医療経済の両方に貢献できる新たな仕組みづくりが必要となったことが動機です。

解決に向けた具体策と成果

2023年より心臓治療用カテーテルを回収し再利用を推進。2024年から再製造医療機器の使用を開始し、ゴミ削減と医療費抑制を達成しました。

取組による定量的な効果

当院では408本の収集カテーテルを再利用化。248本を使用し、医療費を約2,232万円削減しました。

取組のポイント

国の安全基準に則った厳しい品質検査で安全性を保証し、環境負荷軽減と医療費削減を両立した点。

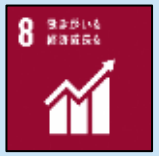
企業規模：団体／**業種**：その他／**地域**：全域（様式１）

中小企業の「事業とSDGsの同期化」へ～入門・導入・実践の支援～（一般社団法人神奈川県中小企業診断協会）

取組の概要

「かながわSDGsパートナー」の中小企業をメインに、今後パートナー企業に登録意向の中小企業に対し、セミナー、先進事例の取材・事例集出版やHPでの公開、個社支援等を通じて、入門（知る）・導入（事業に取り入れる）・実践（事業とSDGsを同期する）の形に整理し、啓蒙・支援活動を原則無料で実施しました。

該当するSDGs目標
（３つまで）







取組を始めた動機・課題

多くの中小企業が、SDGsは大事だとわかっているが、**何から初めれば良いかわからない**、SDGsの活動をやってはいるものの、**本業にきちんと組み込めていない**などの課題に直面しています。これに対し、中小企業診断士が有する、**経営全体を俯瞰的にを診る力**を活用して、**事業とSDGsの同期化**を通じ、**中小企業の発展に寄与**したいと考えています。

解決に向けた具体策と成果

①SDGs先進事例の取材、公開
②無料セミナー、個別相談会の実施
③かながわSDGsパートナーミーティングへの参画

取組による定量的な効果

「かながわSDGsパートナー」登録済または登録意向の中小企業のセミナー参加、先進事例の取材、公表（4社）ほか

取組のポイント

理論や知識も駆使しつつ、実際の中小企業の**現場**を観察し、**個々の**中小企業の**現状**を踏まえた支援活動をしている点。

企業規模：団体／**業種：**その他／**地域：**全域　（様式１）

脱炭素・省エネ・省資源を“稼ぐ力”に　中小企業の環境経営を伴走支援
（一般社団法人神奈川県中小企業診断協会）

取組の概要

中小企業診断士の専門性を活かし、①環境経営診断・導入支援、②環境経営セミナーの開催、③先進企業の取材・事例小冊子の配布の3つの活動を展開しています。脱炭素・省エネ・省資源への取組を、コスト削減や取引機会の拡大、企業イメージ向上につなげ、中小企業の持続的な成長を後押しします。

取組を始めた動機・課題

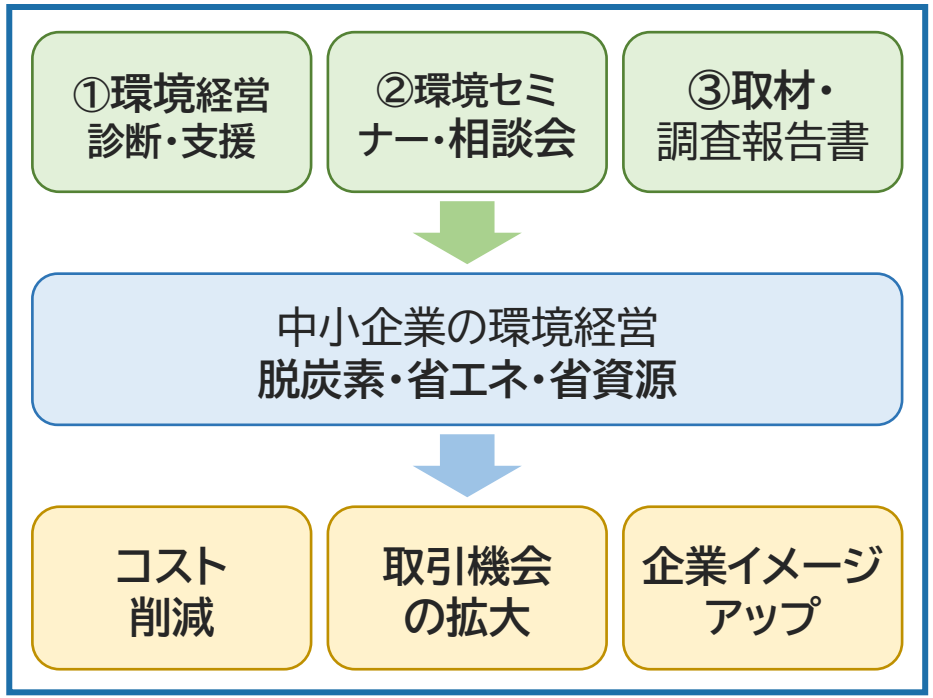
脱炭素・省エネの取り組みは「何から始めればよいか分からない」「コスト負担ばかりで効果が見えない」「社内に専門人材がいない」との声が多く、環境対策は経営課題として後回しになりがちですが、取り組みには様々な経営上のメリットもあることをお伝えし、支援につなげたいと考えます。

該当するSDGs目標（３つまで）









解決に向けた具体策と成果

セミナーと調査報告書で先進企業の工夫を発信し、取り組みの裾野を広げ、個々の企業には脱炭素・省エネの改善策を費用対効果とともに具体的に提案しています。

取組による定量的な効果

セミナー実施　年間2回以上
インタビュー調査（3社）実施

取組のポイント

環境対策を「経営メリット」として数字で示すこと。身近な事例で「自社でもできる」と実感してもらうこと。

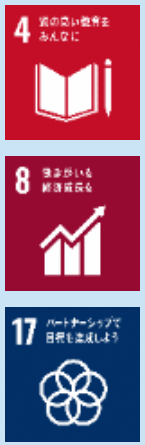
企業規模：団体／**業種：**その他／**地域：**全域　（様式１）

調べて、掘り起こして、伝える　人材定着にきくSDGs事例の発信
（一般社団法人神奈川県中小企業診断協会）

取組の概要

かながわSDGsパートナーの「人・社会」分野の取組を深耕するため、**アンケート調査**で県内企業の実態と課題を把握し、先進企業への**訪問インタビュー**で事例を発掘して事例集にまとめた。その成果を活かし、「**人が集まる、辞めない会社づくり**」をテーマとした**セミナー**を開催し、人材の確保・定着にSDGsを活かすヒントを発信した。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

多くの中小企業が**採用難や人手不足**に直面する一方、働き方改革や人材育成、地域共生といった「人・社会」分野のSDGsは、**取組が経営効果にどうつながるのかが見えにくい。**人材や資金、ノウハウが限られる中で一歩を踏み出せない企業に対し、身近な県内企業の先進事例を届けることで、SDGsを経営に活かす後押しをしたいと考えた。

解決に向けた具体策と成果

アンケートで企業の課題と求める支援を把握し、ニーズの高い**「好事例の提供」と「セミナー」**に的を絞って、事例取材から講演での発信までを一貫して実施した。

取組による定量的な効果

事例集取材企業**3社**、取組に関するアンケート回答**18社**、人の採用・定着に関するセミナー来場**30名以上**

取組のポイント

アンケートで企業の課題とニーズを把握し、その答えとなる事例取材とセミナー発信へ**一貫してつなげた**こと。

企業規模：中小企業／**業種：**不動産業・物品賃貸業／**地域：**横須賀・三浦地域　（様式１）

楽しみながら砂浜をきれいに! 地域住民と美化活動（株式会社栄林）

取組の概要

夏場を除いた年4～5回のペースで、弊社が中心となって活動している地域住民等とのコミュニティ「チームOHANA」のメンバーと共に海岸の清掃活動を行っています。
ゴミ拾いだけではなく、お弁当を一緒に食べたり、ヨガをしたりして地域住民との交流も深めています。

取組を始めた動機・課題

30年ほど前から地元駅周辺の清掃活動を行っており、20年ほど前からは近隣の海岸のごみ問題に着目して活動を始めました。たばこのフィルターはマイクロプラスチックと有害物質が含まれており、魚などを通して私たちの食生活にも悪影響を及ぼすため、吸い殻は重点的に拾っています。

該当するSDGs目標（３つまで）









解決に向けた具体策と成果

拾い残しが無いよう横一列で進みながら拾ったり、グループに分かれてエリアを分担して活動。

取組による定量的な効果

清掃後の心の清々しさはもちろん、美しい街で健康的な暮らしを守ることができます。

取組のポイント

たばこの吸い殻を最も拾った人には景品を提供するなど、楽しみもあり。関連法人の利用者も参加して地域で活動中。

企業規模：中小企業／**業種：**サービス業／**地域：**県西地域（様式１）

宿泊・食・体験で港町に経済循環を
（スチームン株式会社）

取組の概要

真鶴の自然・食・文化を生かし、宿泊施設「クスクスグランピング真鶴」と魚市場の2Fにある飲食施設「真鶴 魚座」を運営。地域の食材を提供し、自然体験やまち歩きへ観光客をつないでいる。観光消費を地域内に広げ、地域事業者の仕事と雇用を生み出す持続可能な観光に取り組む。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

人口減少や担い手不足が進む港町・真鶴では、豊かな自然や水産物が十分な地域収益につながらないことが課題。観光客が訪れるだけでなく、地元で食べ、体験し、滞在する仕組みをつくり、地域産業の継続と新たな雇用につなげたいと考えた。

解決に向けた具体策と成果

宿泊・飲食・体験を組み合わせ、地元食材の提供と地域への送客を実践。2023年にグランピング事業、2026年にレストラン事業を開業し、地域の事業者との連携を拡大。

取組による定量的な効果

2025年のグランピング宿泊者は約5,014人（2023年度町内宿泊者の25%相当）。両事業で計52名を雇用。

取組のポイント

地域資源を本業に活用し、宿泊・飲食・体験を連携。地域への送客と消費を生む仕組みを構築。

企業規模：中小企業／**業種：**医療・福祉／**地域：**県央地域（様式１）

医療×行政×芸術×教育で広げる！みんなの未病対策
（医療法人社団カワサキ）

取組の概要

地域住民の健康寿命延伸を目指し、医療専門職による未病対策・体操教室を年間27回開催。行政からの依頼による市のスポーツ推進委員への講義や、クラシックコンサートを通じた口腔がん検診の啓発にも取り組む。相模女子大デザイン科生の作品展示など、医療・行政・芸術・教育を結びつけ、誰もが健康づくりに関心を持てる地域社会の実現を目指している。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

未病の重要性が十分に認識されず、健康づくりに関心を持つ機会が限られていた。病気になってから医療を受けるだけでなく、日常生活の中で健康を考えるきっかけが必要と考え、医療専門職の知識を地域に還元する活動を開始。さらに、行政や芸術・教育分野とのつながりを生かし、従来の医療啓発にとらわれない取組へ発展させようと考えた。

解決に向けた具体策と成果

地域の健康づくりを担う人材へ知識を伝えることで、市民への啓発の広がりを図った。また、音楽や芸術を通して、楽しみながら健康に関心を持てる場を創出した。

取組による定量的な効果

体操教室参加人数（延べ）　1400人
クラッシックコンサート入場者　120人

取組のポイント

既存の人材や施設、地域のつながりを活用することで、多額の費用をかけずに継続できる。

企業規模：大企業／**業種：**卸売業・小売業／**地域：**全域（様式１）

みんなの夏祭り＆盆踊り大会
（日産神奈川販売株式会社）

取組の概要

神奈川県立こども医療センターと協同し、取引先の協賛出店を得て初の夏祭りを開催。車いすや身体に制限がある子も一緒に楽しめるよう、紐を引くだけの「千本引き」や高さ対応可能な「魚釣りゲーム」等を企画。長期療養中の子どもたちやご家族へ、**インクルーシブ**な遊びの場と心温まる交流の時間を届けました。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

すべての子供たちに楽しい思い出を届けたいという想いを抱く一方で、長期療養中や車いすなどの身体の動きに制限がある子どもが、従来のお祭りでは参加の難しさを抱えているという課題に着目。誰もが分け隔てなく参加できる**インクルーシブ**なお祭りを目指し、企画を立ち上げました。

解決に向けた具体策と成果

「千本引き」や「魚釣りゲーム」などで身体の制限に合わせた工夫を行い、車いす等の子どもも自発的に遊べる環境を実現しました。

取組による定量的な効果

神奈川県立こども医療センターと取引会社5社が協賛し、**延べ150名**の子供に笑顔を提供。

取組のポイント

企業、病院、関係者が一体となり、地域の**インクルーシブ**な遊び場と絆を創出した点。

企業規模：中小企業／**業種：**サービス業／**地域：**横浜地域 （様式１）

捨てる素材を、つながる仕事へ。―「ともいき」を仕事にする―
（株式会社ツワモノ）

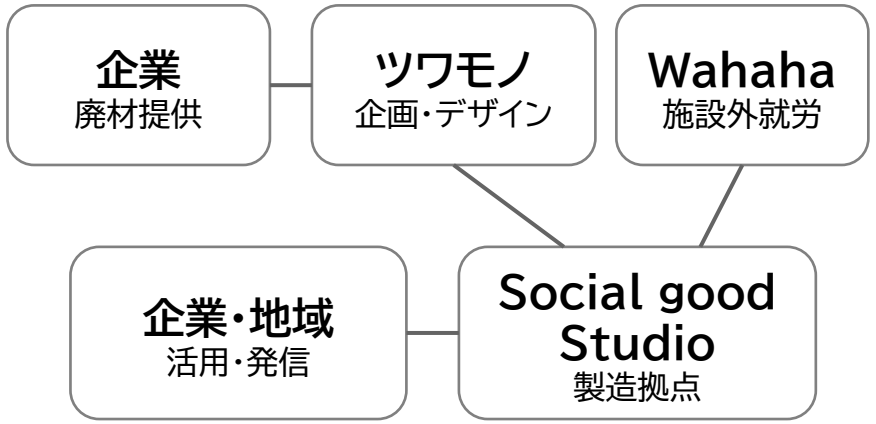
取組の概要

企業の廃プラスチックや廃ガラス等を、**Wahahaに通所する障害のある方が施設外就労として「Social good Studio」でSocial Good Tileへアップサイクル。**完成品を企業・地域で活用し、廃材活用、福祉の仕事づくり、企業の発信までを一つの循環にする取組です。

該当するSDGs目標
（３つまで）



企業・福祉・製造拠点が、それぞれの役割を持ち寄る仕組み



「支援する・される」から、「ともに働き、ともにつくる」へ。

取組を始めた動機・課題

「福祉施設の中だけで完結しない仕事をつくりたい」。企業には活かし切れない廃材があり、地域には働く機会を求める人がいます。支援する側・される側ではなく、企業と福祉がそれぞれの強みを持ち寄り、同じ仕事を通じて価値を生み出す。**そんな「ともいき」を本業として続く仕組みにしたい**と考えました。

解決に向けた具体策と成果

ツワモノが企画・デザインを担い、製造拠点Social good Studioを整備。**Wahahaと施設外就労の受入れ体制を構築し、現在参加者を募集中**です。

取組による定量的な効果

製造拠点1か所を整備。施設外就労は募集中。稼働後、参加人数・就労時間・廃材重量・製造枚数を継続測定。

取組のポイント

廃材処理と福祉支援を別々にせず、**企業の本業の中に施設外就労を組み込み、製品実装・発信まで循環**させる点。

企業規模：中小企業／**業種**：運輸業・郵便業／**地域**：横浜地域（様式１）

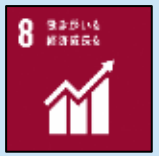
社内ポータルサイトを活用した環境負荷の軽減と働きやすい職場づくり（トーヨーエキスプレス株式会社）

取組の概要

社内ポータルサイトを活用し、各種申請・報告書類の電子化や社内情報の一元管理を推進しています。また、匿名意見箱を設置し、従業員の声や会社の対応状況を共有することで、風通しの良い職場づくりに取り組んでいます。ペーパーレス化による環境負荷の軽減と業務効率化を図り、持続可能な職場環境の実現を目指しています。

該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

従来の紙を中心とした業務では、資源の消費や情報共有の遅れ、従業員の負担が課題となっていました。そこで、ペーパーレス化による環境負荷の軽減と業務効率化を図るとともに、従業員の声を反映し、誰もが働きやすい職場環境を実現するため、社内ポータルサイトの活用を始めました。

解決に向けた具体策と成果

各種申請・報告の電子化により紙資源の削減と業務効率化を推進。匿名意見箱の設置と対応状況の公開により、従業員の声を反映しやすい職場環境を整備しました。

取組による定量的な効果

約100名の従業員を対象に情報共有を一元化し、各種申請・報告業務の電子化を推進。

取組のポイント

ペーパーレス化と業務効率化に加え、従業員の声を可視化し、誰もが意見を伝えやすい職場環境を実現。

企業規模：中小企業／業種：その他／地域：川崎地域　（様式１）

電車の床の廃液が学びに！本業の脱炭素技術を出前授業へ（和光産業株式会社）

取組の概要

床ワックスの**剥離廃液を水とワックス分に分けて再利用**する脱炭素技術「イージーピールフロアケア」を開発し、JR南武線・鶴見線・**東海道線**の車両の床管理に導入。その仕組みを**子どもたちが実験で体験する出前授業**を15回実施し、**芳香剤や非常用トイレ**も作ります。

該当するSDGs目標（３つまで）





取組を始めた動機・課題

従来、剥離廃液は**産業廃棄物として焼却**され、清掃業は環境技術が評価されにくい業界でした。人手不足が進むなか、**本業の技術を地域の子どもたちに伝える**ことで、環境意識と**業界のイメージ向上**につなげたいと考えました。

解決に向けた具体策と成果

JR南武線などの電車の床管理で出る廃液を教材に活用。「またやりたい」「リサイクルの大切さを学びました」と好評。

取組による定量的な効果

出前授業15回・延べ180名以上、環境展示会9回。廃液は100%再利用で産廃ゼロ。

取組のポイント

本業の仕組みをそのまま教材に。若手社員が講師となり、学校・学童へ無理なく展開。

みんなのSDGs 応募申請書

企業規模：中小企業／**業種：**建設業／**地域：**県央地域　（様式１）

採用強化！外国籍の方の雇い入れも！
（株式会社　明輝社）

取組の概要

電気工事を通して地域社会を支えるとともに、将来の担い手となる高校新卒者の採用に力を入れている。また、外国人材の雇用にも取り組み、特定技能1号を持つ人材を受け入れることで、国籍に関わらず、一人ひとりが活躍できる職場を目指します。若者の育成、多様な人材の活躍を通じて電気工事の技術を次世代へ繋ぎ持続的に事業を続けられる会社を目指す。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

建設業は人手不足が課題となっている。将来にわたって、生活していくには欠かせないインフラを支えていくためには、継続的な人材の確保が必要だ。人手不足の解消と多様な人材が活躍できる会社を目指している。

解決に向けた具体策と成果

学校への求人配布、訪問。会社見学で実際に現場も見学してもらう。人事以外にも実際に現場で働く工事士とも話せる機会を作った。11月から特定技能1号の方を雇い入れる。

取組による定量的な効果

前年の高校新卒者の選考希望は0人だったが、今年は4人に増えた。11月から特定技能1号の方を初めて雇い入れる。

取組のポイント

継続的に求人票を出す事。会社の雰囲気を重視している生徒さんもいるため、多くの社員と接する機会を作る。

企業規模：団体／**業種**：その他／**地域**：全域　（様式１）

「もったいない」を「分かち合い」、「ありがとう」へ
（公益社団法人フードバンクかながわ）

取組の概要

「品質に問題なく、まだおいしく食べることができるにもかかわらず、販売や活用ができずに捨てざるを得ない食品」を企業・団体・個人から無償で提供いただいています。それらの食品を行政や社会福祉協議会、地域の支援団体へ適正な配分で提供を行う取り組みを行うことで、食を必要としている方々を間接的に支援しています。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

2014年に「子どもの貧困対策法」、2015年に「生活困窮者自立支援法」が施行され、「貧困問題」が社会的にクローズアップされました。それを受けて、神奈川県内の非営利12団体が集まり、県内の貧困問題に役立つ取り組みについて議論を重ね、3年の準備期間を経て2018年にフードバンクを立ち上げました。

解決に向けた具体策と成果

正会員のステイクホルダーを中心に行政の支援も得て広く呼び掛け、**取扱重量は開設時の10倍を超えました。**企業や県内外のフードバンクと連携し**冷凍品の活用も広めています。**

取組による定量的な効果

寄贈食品重量：464ﾄﾝ（前年比123.0%）、提供食品重量：455ﾄﾝ（同122.4%）、提供団体数：305団体（前年＋17）

取組のポイント

正会員12団体がそれぞれ強みを発揮し、ステイクホルダーを巻き込むことで、活動の周知と参加を広げています。

企業規模：中小企業／**業種**：卸売業・小売業／**地域**：全域 （様式１）

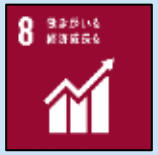
地域の子ども向けの本格的な整備士体験イベント「キッズメカニック」を開催（ニコル・グループ）

取組の概要

自動車整備士の仕事を体験する地域の子供向けイベント「キッズメカニック」を開催。子供達は整備士のユニフォームを着用しチェックシートをもとに車の仕組みを学んだりプロの工具を使った整備を体験。終了後にはキッズメカニック認定証、給与明細、オリジナル紙幣を授与し、その紙幣を使ってお買い物を体験。働く喜びやお金の価値を学ぶ機会を提供。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

自動車整備業界では有効求人倍率が5.09倍（2024年度）に達し、担い手不足が深刻化している。こうした課題を背景に、地域の子どもたちへ整備士の職業体験を提供し、将来の担い手育成につながる関心を育む。また、給与支給やお買い物体験を通じて、働く意義や社会の仕組みを学ぶ機会を創出する。

解決に向けた具体策と成果

Nicole BMW/Nicole MINI 新百合ヶ丘支店、Nicole BMW 青葉宮前支店で「キッズメカニック」を開催したことで、地域の子供達の自動車整備士への関心と職業理解を促進。

取組による定量的な効果

整備士への関心を育む機会を提供した地域の子供達の数　前年比約13%増加（2025年39名、2026年44名）

取組のポイント

既存の整備工場を活用し低コストで実施。整備士が講師を担うことで、社員の意欲向上と仕事への誇りも醸成。

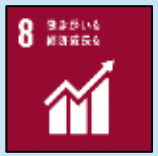
企業規模：中小企業／**業種：**サービス業／**地域：**全域　（様式１）

働く人と組織の両面から進める職場環境改善
（とはなす株式会社）

取組の概要

介護・福祉現場を中心に、職場環境改善プラットフォーム「toHANAS（とはなす）」を提供しています。
経営層や職員のどちらか一方に改善を委ねるのではなく、個人と組織の両面に働きかけ、職場全体で進める環境改善を支援しています。

該当するSDGs目標
（３つまで）







職員一人ひとりの
「気付き」を組織の力へ変える
職場改善プラットホーム

toHANAS
とはなす



取組を始めた動機・課題

少子高齢化により、医療・介護を必要とする人が増える一方、担い手は減少し、現場の人材不足が深刻化しています。テクノロジーの活用が進んでも、人によるケアは欠かせません。私たちは、新たな人材の確保だけでなく、今働く職員が健やかに働き続けられる環境づくりが、医療・介護現場の持続可能性につながると考え、本取組を始めました。

解決に向けた具体策と成果

組織風土調査で組織全体の傾向をデータで可視化し、改善検討を支援。職員には自己理解を促す研修型面談を提供し、前向きに働くことを後押ししています。

取組による定量的な効果

職員参加率95%以上／研修型面談で「得るものがあった」90%以上／離職率30%減（導入法人一例）

取組のポイント

利用者支援が優先される介護・福祉現場で、toHANASは働く人を主役にした支援を行います。

企業規模：中小企業／**業種：**学術研究・専門・技術サービス業／**地域：**県央地域（様式１）

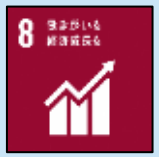
社会課題を自分ゴト化する「ワークショップ」（弁護士法人 前島綜合法律事務所）

取組の概要

地域の企業や団体が社会課題を解決し、企業の成長につなげている具体的な事例をもとにしたワークショップ（ゲーム）を商工会議所等で開催している。中小企業のSDGs推進、企業間連携、新規ビジネス検討、チームビルディングのツールとして活用されている。また、小学校の夏休み期間には公民館と連携し「子ども向けのSDGsゲーム」も開催している。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

中小企業の経営者の皆さまから「SDGsに取り組みたいが何から始めればよいか分からない」、「具体的な事例を紹介してくれるものがない」という相談をいただいていた。また、公民館から、夏休み期間中に小学生でもSDGsを楽しく学べる機会をつくって欲しいというご要望をいただていた。

解決に向けた具体策と成果

県内企業を訪問し、約100件の具体的事例をイラストつきカードに反映した神奈川県版ゲームを制作し、企業・商工会議所で実施している。

取組による定量的な効果

企業セミナー　：16件、 経済団体セミナー： 10件
小学生向け講座： 5件

取組のポイント

楽しく学びながら、社会課題を自分ゴト化するとともに、取組事例を自社に反映したり他社との連携を考える仕組みづくり

企業規模：大企業／**業種**：情報通信業／**地域**：横浜地域（様式１）

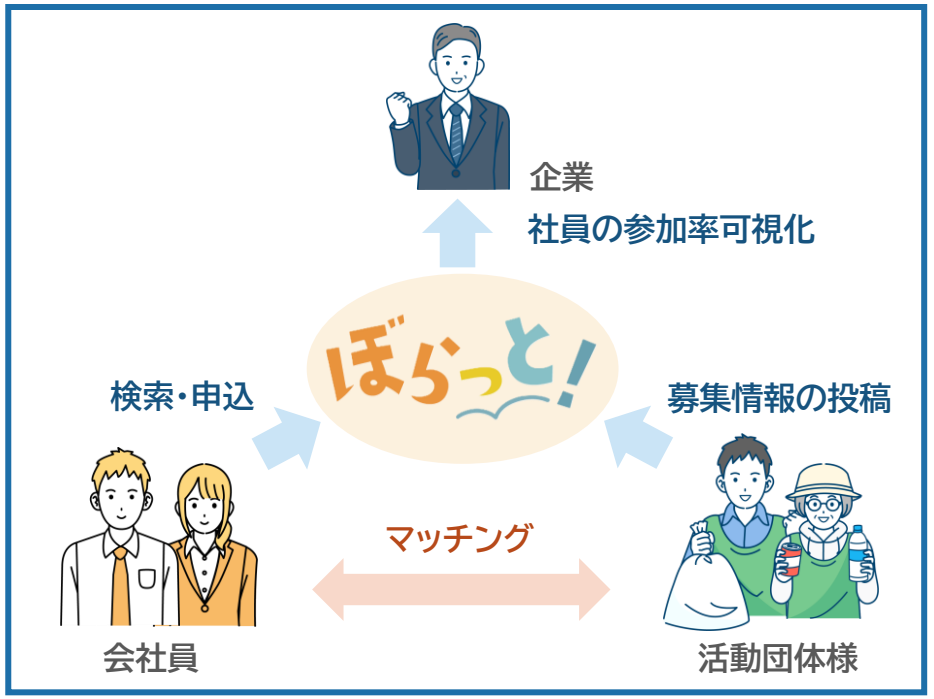
ボランティアマッチングプラットフォーム「ぼらっと！」（株式会社NTTデータMSE）

取組の概要

会社員・企業・活動団体の三者をつなぐボランティアマッチングプラットフォーム「ぼらっと！」を開発し、社内で運用しています。かながわSDGsパートナーに登録している団体様にもご協力いただき、弊社社員74名が各団体様の活動に参加させていただきました。今後は、社内のみならず他企業様にもご利用いただける環境の構築に取り組んでまいります。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

社会課題の解決への気運が高まる中、自社においても社員の社会貢献活動を活性化したいという課題があり、本テーマについて調査を実施しました。調査の結果、会社員も社会課題解決に貢献したいものの行動に移せていない、活動団体様はボランティアを集めることに苦労しているという三者の課題を発見したことが動機です。

解決に向けた具体策と成果

ボランティア募集を集約し、会社員が活動を選んで参加できるマッチングプラットフォームを開発しました。活動団体様は無料で募集の掲載、活動の認知拡大の場として活用できます。

取組による定量的な効果

掲載案件数累計：71件、申込社員数：74名
※7/1～10/1実績、現在も社内運用中

取組のポイント

ご協力いただく活動団体様と密に連携し、社員のボランティア参加促進に向け一緒に取り組みました。

企業規模：NPO／**業種：**製造業／**地域：**横須賀・三浦地域（様式１）

日本の森林について知らせる（NPO法人游風）

取組の概要

日本の森林資源の活用の大切さについて、講義を行い、そのあとに日本の杉を薄く、細くした素材を使って、自分達のかごを編むワークショップを各地で開催。
かながわ木づかいフェア、学童保育、公民館、自主イベントなど

該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

当法人は、森林資源の活用と使い捨てプラスティックの削減に有効な木の器の製造と普及活動を行っている。しかし、利用者からは、「木の皿を使い捨てるのはもったいない」という声。実際に利用する人々に他国と違い、日本は森林資源が豊富にあり活用することも大切であることを周知していく必要があると考えたため

解決に向けた具体策と成果

ただ、講義をするだけでなく、ワークショップを組み合わせることで興味を引き、そこで話すことで、多くの人に働きかけることが出来る。今後も広げていきたい。

取組による定量的な効果

参加者数のべ人数75名

取組のポイント

消費者となる人々に知らせることで、木の製品の利用が増えることで将来的に森林の活性化にもつながる。

企業規模：その他／**業種**：その他／**地域**：県央地域　（様式１）

ラグビー×エコ教育！「キッズフリマ」による次世代の循環型社会学習（三菱重工相模原ダイナボアーズ）

取組の概要

三菱重工相模原ダイナボアーズの試合会場が持つ集客力を活かし、株式会社原清様の支援のもと**子どもたちが主役となる「キッズフリマ」を開催**しました。**モノの売買を通じて金銭感覚やリサイクルの重要性を実践的に学ぶ機会を提供。**スポーツと地元企業の連携により、次世代のSDGs教育と地域活性化を同時に実現する取り組みです。

該当するSDGs目標

（３つまで）









取組を始めた動機・課題

大量消費社会において、子どもたちがモノの価値やお金の仕組みを実践的に学ぶ場が不足していることが課題でした。また、ラグビーの試合会場を単なる観戦の場にとどめず、**地域社会や未来を担う子どもたちの生きた教育の場として有効活用し、地域課題の解決に貢献したい**という両者の思いが一致し開始しました。

解決に向けた具体策と成果

試合会場でキッズフリマを実施。**子ども自身が販売と買い物を体験し、モノを大切にする心と経済の基礎を楽しく学ぶ場を創出。**保護者・参加者から高い満足度を得ました。

取組による定量的な効果

約30名の子どもたちが参加し、接客や値段交渉を通じ、**お金のリテラシーとコミュニケーション能力を高めました。**

取組のポイント

スポーツチームの強力な集客・発信力と、協賛企業の教育支援への熱意を掛け合わせ地域巻き込み型イベントを実現

企業規模：中小企業／**業種：**サービス業（その他）／**地域：**全域（様式１）

社会課題解決に向けたリチウムイオン電池の産学連携回収実証（株式会社 三友環境総合研究所）

取組の概要

三友環境総合研究所は青山学院大学のプロジェクト演習に毎年参加し、企業の課題提示に対する学生の提案を受けていた。**今年度はリチウムイオン電池の不適切な廃棄による火災問題を提示し、学生が啓発策を提案。**従来の授業内での提案発表から一歩進め、**大学構内での電池回収と情報提供アプリの社会実装・効果検証に取り組む。**

該当するSDGs目標（３つまで）





取組を始めた動機・課題

リチウムイオン電池の普及に伴い、不適切な廃棄によるごみ収集車や処理施設の火災が社会課題となっている。適切な排出方法の周知や回収行動の促進が求められる一方、学生が考えた解決策を実社会で試す機会は限られている。そこで、**社会問題への対応と学生の実践的な学びを両立する取組を目指した。**

解決に向けた具体策と成果

大学構内2か所に回収BOXを設置予定。学生が提案した啓発策を基に、**アプリで回収場所・リチウムイオン電池の正しい知識などの案内**をし、回収量とアンケートで効果を検証する。

取組による定量的な効果

回収BOXを構内2か所に設置予定。**回収重量、アプリ利用数、アンケート回答数等を測定**する。

取組のポイント

継続的な産学連携を授業内の提案から社会実装へ発展。**学生自らが提案の効果を検証し、実践的な学びにつなげる。**

企業規模：中小企業／**業種：**医療・福祉／**地域：**川崎地域 （様式１）

地域に根ざした医療と居場所づくり（株式会社こころ）

取組の概要

「地域密着の医療と産前産後ケアを。」を理念に、訪問看護による在宅生活の支援や産前産後ケア・育児相談に取り組む。古民家コミュニティスペース「あゆむ庵」は、親子が気軽に集い、交流や育児相談を通じて安心やつながりを得られる居場所として、地域の子育てを支えている。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

あゆむ庵を運営する当社は訪問看護による健康と生活の支援に加え、産後ケアや育児相談、親子の居場所づくりに取り組んでいる。助産師・看護師などの専門性を生かし、子育て世代から高齢者まで、ライフステージに応じた支援を行っている。専門的な医療・看護と、人が集い交流できる場を大切にし、誰もが地域で安心して暮らし続けられる環境を目指す。

解決に向けた具体策と成果

訪問看護による在宅生活の支援、産後ケア・育児相談、親子の居場所づくりを実施。専門職の知識を生かして地域住民の健康と暮らしを支え、利用実績や声を今後の活動改善に生かす。

取組による定量的な効果

あゆむ庵の延べ利用者436名（2024年5月～2026年10月）、産後ケア訪問延べ240名（2025年6月～）

取組のポイント

訪問看護による健康管理、産後ケア・育児相談、親子の交流の場づくりを通じ、幅広い世代の健康と暮らしを支える。

企業規模：中小企業／**業種：**豚肉の生産・加工・販売／**地域：**全域（様式１）

小学生が「つくる・食べる・感謝する」を体験して食の大切さを学ぶ
（ 株式会社フリーデン ）

取組の概要

子どもたちにソーセージを作る楽しさを五感を通して感じてもらい、いただく命・食事を作る人・届けてくれる人など全てに感謝して食べる大切さを伝える取り組み。
主催として学校との連携や参加者募集をしている土沢地区教育力ネットワークと金旭地区教育力ネットワーク、そして講師となるフリーデンが協力して年1～2回実施されている。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

子どもたちに食の大切さを伝えることを目的として今までも地元の小学校でふれあい給食に参加するなど食育活動に取り組んできた。しかし、授業時間内で行うため座学で映像や口頭での説明だけとなりがちで伝えられることが限られていた。体験重視の授業をするためには物資や場所の手配、参加者募集の作業が必要となり、フリーデン単独での実施は難しかった。

解決に向けた具体策と成果

教育力ネットワーク、企業、学校が協力し合うことで多くの子どもたちに体験してもらえる場を設けられ、体験に必要な物資も分担で持ち寄れるため、それぞれの負担軽減に繋がった。

取組による定量的な効果

過去5回実施し、各回30～45名の小学生が参加している。
中学生のボランティアにも数名ご協力いただいている。

取組のポイント

かねてより地元との信頼関係やネットワークを大切にしてきたことで地域社会と交流する機会を創出できた。

企業規模：中小企業／**業種**：サービス業（その他）／**地域**：全域

市内小学校と地域企業を核にした環境取り組み
（株式会社 三友環境総合研究所）

取組の概要

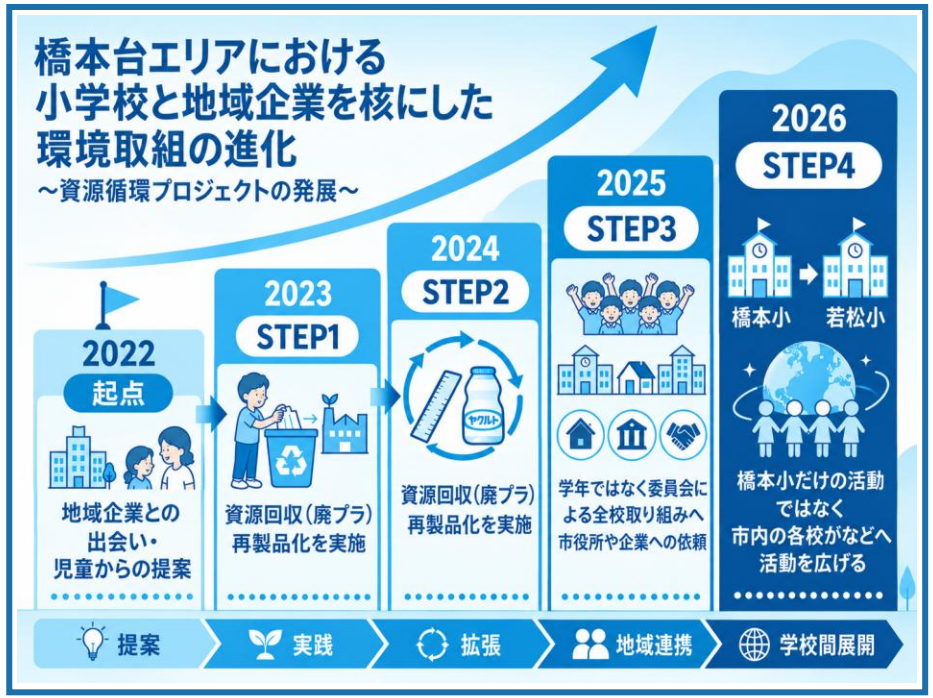
三友環境総合研究所は、相模原市立橋本小学校・若松小学校や自治体と連携し、**廃プラスチックの回収・再製品化を通じた環境学習**を推進している。
児童の資源循環への理解を深め、再製品を新1年生へ贈る活動を通じて、**環境への思いと学びを次世代へつなぎ、持続可能な地域づくり**を目指している。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

三友環境総合研究所は、環境と資源を守るという理念のもと、地域の子どもたちに環境問題やリサイクル技術を学ぶ機会を提供するため、橋本小学校との連携を開始した。
課題は、**廃プラスチックを単なる「ごみ」ではなく「資源」**と捉える意識を育み、回収・再製品化を通じて資源循環を実践することだった。

解決に向けた具体策と成果

大手企業（ヤクルト）と連携し、廃プラ（容器）を回収、資源循環を実践。再製品化は、**相模原市内の複数企業と連携し、破砕・ペレット化・成形の工程を経て再製品化を実現。**

取組による定量的な効果

6年生→全校→家庭・地域へ拡大し、2026年には若松小学校へ展開。**環境意識の向上と地域連携の拡大**につながった。

取組のポイント

企業・学校・地域が連携し、児童主体の活動を段階的に発展。回収から再製品化まで実践、学びを地域や他校へ広げる。

企業規模：NPO／**業種：**その他／**地域：**県央地域（様式１）

メダカのフードBOX-24
（特定非営利活動法人メダカのお弁当）

取組の概要

地域の店舗・施設に暗証番号式の宅配BOX「フードBOX-24」を設置。中学生以下の子育て世帯が**24時間・非対面**で、気兼ねなく食品を受け取れる。時間・場所・情報・制度理解・心理の「5つの壁」を越え、食支援を「最初の入口」に**行政・社協・企業・住民が協働**。学習・居場所・進学就労へつなぎ、**支え手と受け手を固定しない地域共助**を育む。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

支援を必要とする家庭ほど、**複数の困りごとが重なり**、既存の支援につながりにくい。食材を届けるだけでは解決できず、**一団体で対応できる範囲にも限界がある**。だからこそ、行政・社協・企業・店舗・地域住民など**多様な人と協働**し、暮らしの中に自然な接点を増やしたい。**「支援する人／される人」を固定せず**、誰もが支え、支えられる地域を目指す。

解決に向けた具体策と成果

既存の宅配BOXを活用し、**電源不要・低コスト**で店舗・施設に設置。暗証番号で24時間・非対面の食品受取を実現。**地域の協働で14拠点へ拡大し、次の支援につなぐ。**

取組による定量的な効果

開始から**わずか半年で14拠点へ拡大。**9月末累計131世帯511人が利用。**愛川・伊勢原・厚木への展開**も内定。

取組のポイント

既存設備を活かし、**多様な主体が「できること」を持ち寄る。**一団体の限界を越え、低コストで広がる地域共助。

企業規模：中小企業／**業種：**豚肉の生産・加工・販売／**地域：**全域（様式１）

現場の声からムダの改善へ（株式会社フリーデン）

取組の概要

商品の配送に使用する包材を段ボールから再利用可能な折り畳みコンテナやサンテナ―に変更したことで年間約30,000枚を削減出来たことで、資材費用の削減や作業効率の向上、環境保全にも繋がった。

取組を始めた動機・課題

厚木DCでは配送に年間約80,000枚の使い捨て段ボールを使用しており、配送先で多くのゴミを排出していた。また、作業場のスペースも多く占め作業効率の悪化にも繋がってしまっていた。また、作業効率改善に向けて委託カット場の入庫時の荷姿変更についても検討してきていた。

該当するSDGs目標
（３つまで）







解決に向けた具体策と成果

一部のお客様のご協力のもと段ボール出荷から再利用可能な折り畳みコンテナ出荷に変更。また屠場でカットした外部仕入れの荷姿を段ボールからサンテナーに変更。

取組による定量的な効果

配送で使用する段ボールを年間約30,000枚を削減
1人当たりの作業時間を1日2時間程度削減

取組のポイント

昔からのやり方に捉われず、ちょっとした気付きでムダを改善出来る。現場の声をヒントに変えられることはきっとあります。

企業規模：中小企業／**業種**：その他／**地域**：川崎地域（様式１）

リサイクルを可能にしCo2排出量削減を可能にするリサイクルルート処理（日本ダスト株式会社_NDKグループ）

取組の概要

NDK白石工場とNDK夜光工場で、混合廃棄物の選別・破砕をし、リサイクルルートで処理を行うことが、他社で廃棄物を焼却処理するよりも、CO^2排出量が約27%～28%低減されることがデータとして認められました。また、工場で産業廃棄物を選別・破砕・圧縮梱包を行うことで、次の処理先でリサイクルが可能となり、リサイクル率は95%以上となっています。

該当するSDGs目標（３つまで）





取組を始めた動機・課題

創業から56年。ずっと変わらない処理を行っておりますが、時代が変わり環境課題に対して積極的に取り組む企業が増えてきている中で、自社で行っている事業にどのような効果があるかをしっかり数値化して提示することで安心感や信頼をいただけると思い様々な認証を取得しようと考えました。

解決に向けた具体策と成果

数値化出来た点がアピールポイントになり、同じ廃棄物処理でも『選んでもらえる企業』になれたと考えております。また中小企業版SBTも取得出来ました。

取組による定量的な効果

昨年から今年にかけてかながわSDGsパートナーミーティングでお会いした企業・団体様の廃棄物処理を4件携わりました。

取組のポイント

取組についてしっかりとした根拠と取組を知ってもらうために積極的に情報交換出来る場に出向いて繋がりを増やす。

企業規模：中小企業／**業種：**卸売業・小売業／**地域：**県西地域（様式１）

野生の命に第二の物語を
（Recovery and Reload）

取組の概要

捕獲された鹿・猪・小動物の毛皮を**ジビエレザー**や**セーム革**を小田原市の補助事業の採択を経て生活の一部にジビエを取り入れた暮らしの商品として活用。自ら捕獲・解体・製品作りまで命をつなぎ、**木育・食育ワークショップ**を通じて、**命の大切さ**、**フードロス**、**サーキュラーエコノミー**な暮らし、森林と野生動物の関係を伝えています。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

猟師として捕獲・解体に携わる中で、食肉以外の皮などが十分に活用されない現状に課題を感じました。鳥獣被害対策で捕獲された命を地域の資源として生かし、消費者が森林や野生動物との関わりを学べる機会をつくるため、製品開発と体験活動を始め、**命を奪う→命を生かす**は自分自身の行動で変えられることを体現してきました。

解決に向けた具体策と成果

鹿・猪毛皮をジビエレザーやセーム革に加工し、**針と糸を使わない安全なジビエレザーワークショップ**で、子どもから大人まで命と資源循環を学ぶ機会を提供しています。

取組による定量的な効果

鹿・猪毛皮を**累計321枚**利活用。平均60デシ換算で約**192.6㎡**の資源を再生。（**畳約119畳分**）

取組のポイント

猟師が捕獲・解体・制作を一貫することで、命の代弁者として命のストーリーを現場感から伝える仕組み。

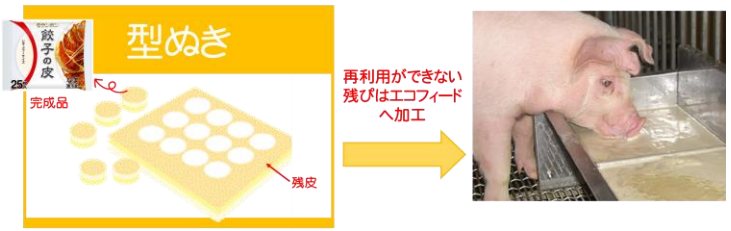
食育の取り組み
（モランボン株式会社）

取組の概要

・親子手づくり餃子教室（横浜市中区）で食育活動を行う。
・相模原市桜まつり、SDGsEXPO、出前授業（県内小中学校）でモランボンのSDGs活動の紹介を行う。
・餃子の皮の切れ端を家畜用のえさとして再利用しています。
・出荷できない商品や社員によるフードドライブを実施し、フードドバンクに食品を提供しています。

該当するSDGs目標
（３つまで）







取組を始めた動機・課題

・食育　食品メーカーとして、自社商品の餃子の皮を使った料理教室を開催し、調理方法や食品ロス削除を知ってもらう食育活動を実施。
・災害支援　東日本～能登半島地震などで避難者の方々に炊き出しを実施。

解決に向けた具体策と成果

・商品廃棄を削減するため、フードバンクへの提供やこども食堂への支援活動を実施しています。また、出前授業で小学生と一緒に食品ロス削除のメニュー授業を行う。

取組による定量的な効果

全国で餃子教室を開催し、参加者は2万人を超えます。毎年数10トンの食品・商品をフードバンクへ提供しています。

取組のポイント

全国シェアNO.1（神奈川工場）の餃子の皮を使った食育の取り組みと商品のフードバンク提供を行っています。

企業規模：中小企業／**業種**：建設業／**地域**：全域（様式１）

職人の技で暮らしの負担を減らす、最短1日のお風呂工事「1DAYS」
（メガバックス株式会社）

取組の概要

登録商標「1DAYS お風呂の1DAYリフォーム」は、
職人の技能を高め、生活と環境の負担を減らす取組です。
創業以来の職人育成と現場調査により、条件に
合う工事を解体から引渡しまで1日で実施。複数業者の
出入りや取引先の手配を減らし、担う工程に見合う対価を
職人へ。技術を継承し、選ばれ続ける仕事をつくります。

該当するSDGs目標
（３つまで）





取組を始めた動機・課題

職人出身の代表・専務が出発点に据えたのは、職人の社会的価値を高めることです。技術を磨いても担当工程が限られると、その価値を十分に対価へ結びつけにくい。一方、お客様には長い工期、取引先には複数業者の手配が負担になります。職人が担える仕事を広げ、働く人の価値と、頼む人の利便性をともに高めたいと考えました。

解決に向けた具体策と成果

複数業者が別の日に入る工事を、多能工が解体から引渡しまで担う工事へ。条件に合えば1日で完了し、お客様の立会い日数や取引先の工程調整、車両の往来を減らします。

取組による定量的な効果

一般的なリフォーム会社比でCO_2約90%削減。
年間で杉約16,815本の吸収量に相当（自社計算）。

取組のポイント

職人の知恵をメーカーと共有し、製品と施工の改善へ。育成と協業で技術・品質を継ぎ、ユニットバス文化を継承する。

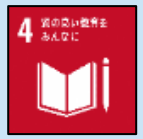
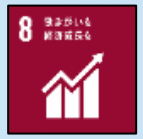
企業規模：中小企業／**業種**：建設業／**地域**：全域（様式１）

お風呂の調査をオンラインに。提案と人材育成を支える「スマオフ」（メガバックス株式会社）

取組の概要

お風呂のリフォームに必要な現場調査をオンラインで支援。独り立ちしたばかりで判断に不安がある担当者も、調査と施工を担う当社へ商品や工事の疑問を相談できます。社内の回答待ちや上司の同行負担を減らし、確認結果を提案へ。実案件で知識と判断力を育みながら、早い段階から提案できる体制を支えます。

該当するSDGs目標
（３つまで）


独り立ち後も、相談しながら提案できる



現地担当者と当社が各1台で訪問する調査
スマオフを利用すると
車2台から1台へ（50%減）

取組を始めた動機・課題

幅広いリフォームを扱う企業では、浴室の知識を持つ人材の育成に時間がかかります。詳しい上司も現場管理に追われ、担当者は質問できず、確認や提案が滞る。地方では身近な専門職や指導機会を確保しにくいこともあります。社内や立地の制約を越えて相談でき、案件と育成を並行して進めるために始めました。

解決に向けた具体策と成果

独り立ち後の判断や提案を遠隔で支援。事前に写真・寸法を共有した例では、約15分でオンライン確認。社内への持ち帰り確認や上司の同行を減らし、提案を早めます。

取組による定量的な効果

訪問による現場調査は、相談から2週間以上かかることも。
スマオフは最短翌日から実施（空き等による）。

取組のポイント

取引先の社内教育を、調査・施工の知見で支える。相談しながら提案を進め、育成と業務の効率化を両立する。

みんなのSDGs 応募申請書

企業規模：中小企業／**業種：**製造業／**地域：**県央地域　（様式１）

金属廃材をベルに再生！ベルづくり体験で地域の環境学習に貢献
（富士ホールディングス株式会社）

取組の概要

地域住民や社員を対象に開催している自社イベントで、工場から排出される金属廃材**約4.3kg**を再利用したベルづくりワークショップを実施。**約100名**の参加者がベルにつける短冊に絵を描くなどして、オリジナルのベルを制作した。廃材のアップサイクルはSDGsゴール12、子どもたちが資源循環について学ぶ機会の創出はゴール4につながる。

該当するSDGs目標
（３つまで）







完成したベル

取組を始めた動機・課題

レンジフードを60年以上生産する当社では、廃棄物削減など責任あるものづくりに取り組んでいる。その一環で製造時に発生する廃材をベルに再加工し、来客者が自由に持ち帰れる形で配布していたが、持ち帰る人は一部であった。そこで、**資源循環についてより多くの人に知ってもらうために、ベルの新たな活用機会を創出することが課題となっていた。**

解決に向けた具体策と成果

ワークショップを通じて廃材の活用機会を生み出し、**アップサイクルを促進した。**また、廃材が再加工される工程をパネルで紹介し、**資源循環の理解醸成につなげた。**

取組による定量的な効果

ワークショップ体験者数**約100名。**
使用した真鍮の廃材の量**約4.3kg**、制作したベル約**100個。**

取組のポイント

自社イベントの場を活用し、紙などの材料費を約1万円に抑え、**参加しやすい無料ワークショップを実現した。**

企業規模：中小企業／**業種**：製造業／**地域**：全域（様式１）

強アルカリイオン電解水による薬品レス・環境負荷低減・労働安全向上への取り組み（東京中央食品株式会社）

取組の概要

冷凍惣菜・カット野菜を製造する伊勢原工場において、自社生成の強アルカリイオン電解水（以下、電解水）を全行程へ導入し、洗浄力と殺菌効果を維持しつつ、環境負荷の大幅低減と安全性向上を実現しました。電解水は、**水と食塩を電気分解して生成する界面活性剤ゼロ**という特性を有する、油・タンパク質汚れを分解する**環境配慮型**の洗浄剤です。

該当するSDGs目標

（３つまで）















取組を始めた動機・課題

従来の衛生管理では洗剤や除菌剤を多く使用しており、薬剤購入費や環境負荷の増加、廃棄容器の発生、薬品補充や在庫管理に伴う作業負担、労働災害リスクが課題でした。
塩素系薬品による設備劣化や保守負担も懸念されており、安全性・効率性・経済性を両立した衛生管理方法の構築が求められていました。

解決に向けた具体策と成果

自社生成の電解水は泡立ちがなく、すすぎ工程の短縮により水・薬品の使用量削減と設備への負荷低減を実現しました。また、作業負担軽減と衛生水準の維持向上にも寄与しました。

取組による定量的な効果

年間1320トンの水使用量削減、洗浄剤93%削減、除菌剤72%減、容器400個以上の削減、労災0件を達成しました。

取組のポイント

人・設備・環境・経営課題を同時に改善し、食品工場における安全で効率的な薬品レス化モデルを構築。

企業規模：中小企業／**業種：**卸売業・小売業／**地域：**川崎地域（様式１）

学生服リユースから広がる、子ども・地域・環境をつなぐ資源循環の輪（さくらや川崎店）

取組の概要

学生服リユース販売を軸に、制服・学用品・ランドセルなどの回収、再利用を推進。地域企業・施設への回収ボックス設置、学校や福祉団体への学用品の寄付、リユースが難しい制服ジャージ類を活用したアップサイクルワークショップ、出前授業による衣類廃棄問題の環境教育にも取り組む。地域連携による資源循環の仕組みづくりを進めている。

該当するSDGs目標（３つまで）





取組を始めた動機・課題

卒業後に不要となる制服や学用品がまだ使えるにもかかわらず廃棄されている一方、制服の購入負担に悩む家庭もある。資源の無駄を減らし、必要とする子どもたちに繋げるとともに、地域全体で環境について考える機会をつくりたいと考えた。

解決に向けた具体策と成果

平間小学校等の出前授業、カルッツかわさき等の回収ボックス設置、中原市民館でのリユースランドセル無料譲渡会など多くの方に認知され回収品も増加した。

取組による定量的な効果

2026年1月～9月に制服1409点を回収。リユース販売431点。学用品（ランドセル含む）の寄付・無料譲渡91点を実現。

取組のポイント

回収・再利用・福祉支援・環境教育を地域と連携させ、皆が参加できる捨てない循環の仕組みを作った点。

みんなのSDGs応募申請書

企業規模：団体／**業種：**サービス業／**地域：**湘南地域　（様式１）

地域へ循環する紙芝居プロジェクト
（BOOKで「食と学び」のコミュニティをつくる会_”おいしいサステナ文庫”でつながろうー）

取組の概要

＜地域共創コーディネーターというビジネスモデル＞
地域の中にある企業や団体の力をつなぎ、共創させ、
子どもの学びを地域全体の活動へ展開させた事例。
防災やSDGsテーマの「親子参加紙芝居づくり」を
ワークショップで終わらせず、市の防災フェアや各所で
上演展開する企画にして企業の社会貢献活動と結び付けた。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

大企業でなくとも地域の社会貢献事業をやりたいが見合うコンテンツがない。**市民団体は地域社会への貢献活動をしているが、活動資金に乏しく継続性に欠ける。**藤沢地域で、両者をマッチングし共創させるビジネスに可能性を感じ、「食」「SDGs」「本」視点で始めた。

解決に向けた具体策と成果

藤沢市地産地消推進協議会委員やふじさわSDGs共創パートナーに登録し、参加企業・団体・社会課題の調査・ネットワーづくりから共創を産むことができた。

取組による定量的な効果

本事例では、ふじさわSDGs共創パートナーの企業・NPO・市民団体、計**8つの企業・団体と行政・市民が共創**した。

取組のポイント

地域の“物語”を企業の社会的価値に。今後はかながわSDGsパートナーにも活動範囲を拡げる。

みんなのSDGs 応募申請書

（様式１）

企業規模：中小企業／**業種**：製造業／**地域**：川崎地域

横断幕が600個の風車に！子どもたちとつくる地域循環型アップサイクル（株式会社SKLO）

取組の概要

川崎市内で役目を終えた横断幕を活用し、川崎市立高津小学校5年生189名と約600個の風車を制作。探究学習と空間装飾を組み合わせ、完成した風車で川崎市役所を彩った。

取組を始めた動機・課題

イベント終了後に役目を終える横断幕を、廃棄せず地域で活用したいと考えた。また、子どもたちが環境問題を自分ごととして捉え、実際の行動につなげる学習機会をつくりたいと考えた。

該当するSDGs目標
（３つまで）





解決に向けた具体策と成果

SKLOが横断幕の加工と授業に協力。児童が作った風車を川崎市役所に展示した。児童は制作後もアップサイクルの探究を続けた。

取組による定量的な効果

小学5年生189名が参加。約600個の風車を制作し、市役所に展示。

取組のポイント

企業の加工技術と学校の探究学習をつなぎ、地域の廃材を教材と街の装飾に活用。

企業規模：中小企業／**業種：**教育・学習支援業／**地域：**全域 （様式１）

お神輿を通じ地域の仲間を増やし文化をつなぐ
（株式会社アレックスプランニング）

取組の概要

多くの地域で少子高齢化による、地域のお神輿の担い手が不足しているという話をよく聞きます。お神輿の担ぎ手として参加して欲しいという連絡をいただいた際に、弊社内や県内協力会社メンバーの中からお神輿を担いでみたいという仲間を募集しました。担ぎ手仲間を増やし地域の皆さんとの交流を深めることでお神輿（お祭り）文化の継承に貢献しています。

該当するSDGs目標
（３つまで）









取組を始めた動機・課題

横須賀の友人から、少子高齢化の影響で自治体・お神輿の担ぎ手が不足しているので応援して欲しいという連絡がありました。担ぎ手が不足するとお神輿という地域文化を繋ぐことができなくなることから、最初は私一人で応援参加していました。私一人の応援だけでは、到底、対応できる訳もなく、体力的にも大きな負担となっていました。

解決に向けた具体策と成果

協力会社に「お神輿担ぎ手・募集チラシ」を掲示してもらい、担ぎ手の募集を行いました。お祭り終了後、主催者と担ぎ手との楽しい交流会を開催することで更に仲間が増えていきました。

取組による定量的な効果

毎年、応援メンバーが増え、今年は30名以上の応援メンバーが集まりました。応援メンバー間の交流の機会も増えました。

取組のポイント

多種多様な仲間が集まって、心を一つにして楽しむ環境づくり。仲間を増やすことで担ぎ手の体力的な負担軽減につながる。

企業規模：中小企業／**業種：**医療・福祉／**地域：**横浜地域（様式１）

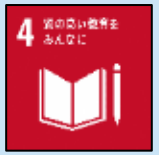
「安心」と「楽しい」から広がる多様な学び
（株式会社キッズフォレ）

取組の概要

学校以外の安心して楽しく過ごせる場（フリースクール）として、**家庭や地域と連帯**する社会参画の選択肢を提供し、ひとりひとりの興味関心に寄り添った**多様な学び**の場を展開。アート・理科・3Dプリンター・英語・料理など、興味を起点とした体験を通じて、**自ら選び、考え、他者と関わる力を育む。**

該当するSDGs目標









取組を始めた動機・課題

キッズフォレグループでは、長年、保育園・学童保育を運営する中で、不登校や登校しぶりに悩む家庭からの相談が増加。学校以外にも安心して過ごし、自分らしく学び、人とつながる場所が必要と考え、2024年4月、フリースクールCOSMIC Academyを開校。

解決に向けた具体策と成果

保育所運営で培った経験を活かし、子ども自身が活動を選べる環境を整備。また、地域マルシェへの出店を通じた社会参加や、定期的な保護者サロンによる家庭支援にも取り組む。

取組による定量的な効果

2024年4月の開校時3名から2026年10月には36名へ。在籍児童数が**12倍**に増加。

取組のポイント

「安心」と「楽しい」を土台に、**一人ひとりのペースと興味を尊重。家庭・地域**とつながり、**学びと社会参加**を支える。